令和2年蘭越町議会第2回定例会会議録

○開会及び閉会

令和 2年 6月17日
開 会 午後10時00分
閉 会 午後16時48分

○出席及び欠席議員の氏名

出席（ 9名）	1番	金安 英照	2番	田村 陽子
	3番	永井 浩	5番	向山 博
	6番	難波 修二	7番	赤石 勝子
	9番	柳谷 要	10番	熊谷 雅幸
	11番	富樫 順悦		

欠席（ 0名）

○会議録署名議員

7番 赤石 勝子 9番 柳谷 要

○説明のために出席した者の職氏名

町 長	金 秀行	副町長	山内 勲
教育長	首藤 一幸	総務課長	小林 俊也
税務課長	竹内 恒雄	住民福祉課長	北川 淳一
健康推進課長	山下 志伸	農林水産課長	西河 修久
建設課長	北山 誠一	商工労働観光課長	梅本 聖孝
会計管理者	小木 利夫	教育委員会次長	田縁 幸哉
農林水産課参事兼農業委員会事務局長			木村 恭史
総務課参事	渡辺 貢	蘭越町代表監査委員	坪田 和昭

○職務のため出席した事務局職員

事務局長 河野 俊明 書 記 和田 慎一

○議事日程

日程第1	会議録署名議員の指名	
日程第2	議席の変更	
日程第3	会期の決定	
日程第4	町長の行政報告及び提案理由の大綱説明	
日程第5	一般質問	熊谷 雅幸
難波 修二
永井 浩
金安 英照
田村 陽子
柳谷 要
日程第6	諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
日程第7	同意第1号	蘭越町監査委員の選任につき同意を求めることについて
日程第8	同意第2号	蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	同意第3号	蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	同意第4号	蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	同意第5号	蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	同意第6号	蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	同意第7号	蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	同意第8号	蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	同意第9号	蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	同意第10号	蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	同意第11号	蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	同意第12号	蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて

	同意第13号	蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	同意第14号	蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	同意第15号	蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	同意第16号	蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
日程第9	議案第1号	示談の締結について（施設内事故）
日程第10	議案第2号	蘭越町手数料条例の一部を改正する条例
日程第11	議案第3号	蘭越町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
日程第12	議案第4号	蘭越町介護予防・生活支援事業条例等の一部を改正する条例
日程第13	議案第5号	蘭越町過疎地域自立促進市町村計画の変更について
日程第14	議案第6号	工事請負契約の締結について（御成橋橋梁補修工事）
日程第15	議案第7号	令和2年度蘭越町一般会計補正予算（第4号）
日程第16	議案第8号	令和2年度蘭越町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）
日程第17	議案第9号	令和2年度蘭越町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）
日程第18	意見書案第1号	自治体財政の充実・強化を求める意見書
日程第19	報告第1号	繰越明許費繰越計算書について（令和元年度蘭越町一般会計）
日程第20	報告第2号	令和元年度蘭越町情報公開条例及び蘭越町個人情報保護条例の運用状況について
日程第21	報告第3号	所管事務調査の中間報告について（総務文教常任委員会）
日程第22	報告第4号	例月出納検査結果報告
日程第23	承認第1号	閉会中の継続調査申出書（経済建設常任委員会所管事務調査）
日程第24	承認第2号	閉会中の継続調査申出書（議会運営委員会）

○議長（富樫順悦） おはようございます。

ただいまの出席議員は9名であります。

これより、令和2年第2回蘭越町議会定例会を開催いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

令和2年第1回定例会後の諸般の報告及び説明出席者につきましては、お手元に配布しておりますので、御了承願います。

また、本日の会議中、総務課広報広聴係及び新聞社の写真撮影について許可をしておりますので、御了承願います。

○議長（富樫順悦） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第118条の規定により、7番赤石議員、9番柳谷議員を指名いたします。

○議長（富樫順悦） 日程第2、議席の変更を行います。

今般の新型コロナウイルス感染防止の観点から、会議規則第4条第3項の規定によって、議席の一部を変更します。

変更後の議席については、あらかじめ皆様にお配りしております議員の座席表のとおり、ただ今着席しております席といたします。

○議長（富樫順悦） 日程第3、会期の決定を議題とします。

議会運営委員長からお諮り願います。 「7番、赤石議員」

○7番（赤石勝子） 令和2年第2回蘭越町議会定例会の開会にあたりまして、議会運営委員会の決定事項をお知らせいたします。

会期は、本日から19日までの3日間といたします。

なお、18日は休会といたします。また、議事の進行により、付議された案件が全部終了した時は、閉会とすることにいたします。

日程につきましては、皆様にお配りしています日程表のとおり行いたいと思いますので、議長よりよろしくお取り計らいのほどお願いいたします。以上でございます。

○議長（富樫順悦） お諮りします。

ただいま、議会運営委員長からお諮りのとおり、本定例会の会期は、本日から19日までの3日間とし、18日は休会としたいと思います。

また、議事の進行により、付議された案件が全部終了した時は閉会といたします。

これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認めます。

よって会期は3日間とし、18日は休会とし、議事の進行により付議された案件が全部終了した時は、閉会することと決定いたしました。

○議長(富樫順悦) 日程第4、町長の行政報告及び提案理由の大綱説明を願います。金町長。

○町長(金秀行) おはようございます。

第2回蘭越町議会定例会を招集しましたところ、大変御多用の中、議員の皆様方の御出席を頂きまして、本定例会が開催できますことを、先ずもってお礼を申し上げたいと存じます。

第3回蘭越町議会臨時会が開催されました5月16日以降の行政報告については、お手元に資料としてお配りをいたしておりますが、詳細をお知らせしたい行事等について口頭で御報告を申し上げます。

1ページ、5月22日金曜日9時から、この日は、羊蹄林産協同組合、中兼理事長が来庁され、町に120万円を寄附いただきました。

町の新型コロナウイルス感染症への対策事業に役立てて欲しいとのことでありましたので、その趣旨に沿うよう、現在、活用を検討いたしているところでございます。

5月26日火曜日13時30分から、この日は、今後の効果的な農業農村整備事業の進め方に関する意見交換会が開催されました。

会議はウェブ会議システムを利用して行われ、後志管内7町村長、2土地改良区理事長と北海道農政部農村振興局長ほか幹部との意見交換会を行い、私からは道営事業による基盤整備事業とスマート農業の技術導入により農作業の効率化・省力化が実証されていることから、今後も道営事業の予算確保と道の単独事業であるパワーアップ事業が今年度で終了することから、次期対策について継続した実施を強く要請いたしましたところでございます。

5月29日金曜日9時から、この日は、昆布温泉病院の任田事務長が来庁されまして、新型コロナウイルス感染症対策などで病院も厳しい運営が続いていることから、病棟の暖房用重油、外来患者送迎用バスの軽油など、燃料費の助成要望を受けましたので、担当課へ検討するよう指示をいたしたところでございます。

2ページ、6月2日火曜日9時30分から、この日は、蘭越厚生事業団

本間理事長並びに大迫施設長が来庁されまして、一灯園及びグループホームらんこしにおいて厳しい施設運営が続いていることから、暖房費及び電気料の助成要望を受けたところでございます。

この件につきましても、昆布温泉病院と同様に担当課へ検討するよう指示をいたしたところでございます。

6月2日火曜日14時10分から、この日は、倶知安警察署主催の山岳山菜遭難防止のための啓発活動が、中山峠駐車場で行われ、出席しております。山岳遭難防止隊による出動式には、倶知安警察署長をはじめ、羊蹄山麓の町村町長、後志総合振興局地域創生部長、後志森林管理署長、羊蹄山ろく消防組合倶知安消防署長ほか、関係者約40名が出席され、上空からは道警ヘリコプター、地上からは警察・消防車両などで広報活動を実施いたしたところでございます。

6月9日火曜日15時30分から、この日は、北海道交通政策局清水目新幹線推進室長ほか来庁され、異動により新たな体制となった御挨拶を兼ねて並行在来線に係る今後の進め方等について意見を交わしたところでございます。清水目室長からは、昨年7月に開催以降、ブロック会議、首長会議の開催に至っていないことに対しお詫びがあり、その後、今月から実施予定のOD調査、旅客流動調査については新型コロナの影響で現在まだ着手できず、通学・通勤等平常に戻るであろう、9月頃に着手し、年度内にデータ分析等を終え、今後の議論に繋げていきたい。また、ブロック会議、首長会議については、OD調査前の8月下旬から9月上旬に開催したいとお話されておりました。私からは、新型コロナの影響で調査が遅れるのは理解する一方で、繰り返し申ししておりますが、間隔を開けず、定期的にフルオープンでブロック会議、首長会議を開催するよう、要請いたしたところでございます。

6月10日水曜日10時から、この日は、前日に発生した林野火災現場を視察いたしたところでございます。林野火災は、6月9日火曜日午後7時頃、町道淀川線の名駒側の入口から約400メートル地点で発生いたしました。午後7時19分、町の猟友会の方がパトロールで巡回していたところ、道路脇約20mに沿って、山際へ向かって火が伸びているのを目視し、蘭越消防へ通報したとのことであります。

蘭越消防のほかニセコ・真狩消防の協力体制により、午後8時20分に鎮火を確認し、事なきを得ましたが、通報が遅ければ、甚大な林野火災となったものと予想されるところでございます。

翌日の10日午前10時から、倶知安警察署、消防蘭越支署ほか関係者と現場検証が行われ、私も現地へ伺い、状況を確認したところ、焼失面

積は約1,000平米、大部分は乾燥した竹藪と樹木の焼失で、出火原因は不明であるとのことでした。

現在、ふれあい通信、フェイスブック等で火気の使用やたばこの始末など注意喚起に努めるとともに、のぼりや看板を設置し、林野火災を発生させないよう、広報活動に努めてまいりたいと思います。

6月11日木曜日11時から、この日は、岩宇・南後志地区洋上風力導入推進会議が開催され、出席いたしたところでございます。

7町村と4漁業組合で推進会議を構成し、今年2月14日に国へこの地域が有望な区域に選定されるための情報提供書を提出しておりまして、今後、今年度に国から有望な区域として選定されるよう要請活動等を行っていくこと、更に、地元漁業者の理解促進を図るため、勉強会等の開催を実施していくことを確認いたしたところでございます。

6月16日火曜日15時30分から、この日は、新型コロナウイルス感染症対策意見交換会をウェブ会議方式より開催いたしております。

後志総合振興局の主催で、羊蹄山麓ブロックとして7町村長と振興局の幹部で懇談を行ったところでございます。私からは、新型コロナウイルス感染症で今後も長期化や次の波が考えられることから、羊蹄山麓では唯一の感染病床を確保している倶知安厚生病院の医療体制強化について、今回の2次補正にある国の支援を要請いたしました。

また、町が事業主体となっている事業所に対して、民間には手厚い支援がされておりますが、自治体の事業所には支援がされない現状から、特別交付税などにより財政支援の要請を行ったところでございます。

次に、6月10日現在の農作業の進捗状況と主な農作物の生育・出荷状況について、御報告申し上げます。

これまでの気象概況ですが、4月から5月にかけて低温曇天の状況もありましたが、直近30日間の平均気温、日照時間は平年を上回っており、降水量は平年を下回っておりますが、作物全般の生育は順調に進んでおります。主な農作物の生育・出荷状況でございますが、水稲は、移植作業は順調に進み、5月末には概ね終了しております。

生育は、育苗期間から移植後まで低温曇天の影響により活着に影響が見られ、天候の回復とともに生育も回復していますが、草丈は平年より短く、葉数、莖数は平年より少ない状況とのことでございます。

アスパラは、受け入れ開始は前年より5日早い5月2日からとなっております。5月12日頃から気温の上昇とともに増加傾向となり、5月16日には2トンを上回る入庫量となりましたが、以降はおおむね1トン前後で推移しております。品質は秀品率が高い状況で推移していると

のことで、出荷は昨年同様今月一杯で終了予定とのことです。

販売状況は、好環境でのスタートとなりましたが、新型コロナウイルスによる外出自粛の影響から、外食需要が減少し、さらに運賃の値上げや経済活動の停滞からギフト需要が減少することが予想され、販売環境は厳しい状況で推移しているとのことです。

いちごは、生産戸数は昨年より1戸減の2戸となり、作付面積も減少したことから、受け入れ数量は0.3トンで前年同期の1トンから減少しております。販売環境も大1パック450円程度で推移しているとのことです。

メロンは、5月前半は低温の影響で生育が停滞気味でしたが、現在は定植及び生育は概ね順調に推移しているとのことで、出荷開始は7月10日前後の見込みとのことです。

トマトは、定植及び生育は概ね順調に推移しているとのことで、出荷開始は昨年並みの6月下旬の見込みとのことです。

畑作物については、全般的に干ばつ傾向で推移しているとのことです。小麦、馬鈴薯、豆類ともに概ね順調に推移しているとのことです。

以上で、農作業の進捗状況と主な農作物の生育・出荷状況についての行政報告を終わります。

次に、緑ヶ丘定住促進住宅提案型買い取り事業の業者選定結果について報告します。本事業につきましても、令和2年度の予算に計上させていただいておりますが、令和2年4月27日から5月11日までの期間において事業への参加受付を行ったところ、代表者株式会社テクノバンハウス・構成員細川建築設計事務所、ホームビルダー馬場工務店、代表者株式会社菅原組・構成員鈴木建設株式会社・株式会社熊谷本店、代表者荒谷建設・構成員佐藤建設株式会社、代表者阿部建築・構成員株式会社中鉢工業の5者から申請がございました。

申請があった業者すべて参加資格基準に達していたことから、6月1日を提出期限として提案書の提出を求め、提出される際には建設課担当者においてヒアリングを実施し各提案者のアピールポイント等も聞き取りを行いました。その後、6月9日に特別職、各課長職の11名で構成する選考委員会を開催し、各業者から提出された提案書を比較検討し、それぞれの審査員による点数方式により選定を行っております。

その内容については、お手元の参考資料としてお配りしているとおりで、審査員がそれぞれ採点し、平均点により点数が一番高い業者と建築に係る協定書を締結する予定となっております。

なお、今回、補正をお願いしました報償費については、各提案者の皆さ

んが提案される際に、設計概要書や配置図、平面図といった役場から示した書類のほか、任意でパースといった建物など立体的に表現したイメージ図を作成するなど、お忙しい中、対応をしていただきましたので、惜しくも選ばれなかった方へ報償費としてお渡ししたく、補正をお願いするもので、後ほど、よろしく御審議をお願いいたします。

以上で、緑ヶ丘定住促進住宅提案型買い取り事業の業者選定結果についての報告を終わります。

次に、本日提案いたします議案の提案理由の大綱について、御説明申し上げます。

諮問第1号につきましては、人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについてでございますが、先般、札幌法務局長から蘭越町に置かれている人権擁護委員について、委員の任期満了により後任の推薦依頼がございましたので、人権擁護委員候補者の推薦について、議会の意見を求めるものでございます。

同意第1号につきましては、蘭越町監査委員の選任につき同意を求めることについてでございます。8月27日に任期満了となります監査委員につきましては、地方自治法第196条第1項の規定に基づきまして、委員の選任について議会の同意をお願いするものでございます。

同意第2号から第16号につきましては、蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについてでございますが、7月19日に任期満了となります農業委員会委員につきましては、農業委員会等に関する法律第8条第1項の規定に基づきまして、委員の任命について議会の同意をお願いするものでございます。

議案第1号につきましては、施設内事故による示談の締結について議決をお願いするものでございます。令和2年5月1日高齢者生活福祉センター目名におきまして、被害者であります菅野さんが、設備点検のため開けたままになっていた床点検口に落下し、頭部と足に怪我をされました。一定の治療が終了したことから、被害者の医療費等の費用3万5,570円について、地方自治法第96条第1項第13号の規定により、示談の議決をお願いするものでございます。

議案第2号につきましては、蘭越町手数料条例の一部を改正する条例の議決をお願いするものです。この条例は、行政手続における特定の個人を認識するための番号等に関する法律の改正により、通知カードの交付が廃止されたことから、当該カードの再発行手数料を廃止するため、条例の一部を改正させていただくものでございます。

議案第3号につきましては、蘭越町国民健康保険税条例の一部を改正

する条例の議決をお願いするものでございます。

国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策において、財政支援の対象となる国民健康保険税の減免の取り扱いが示されたことに伴い、感染症の影響による減免の特例について所要の改正が必要なことから、条例の一部を改正させていただくものでございます。

議案第4号につきましては、蘭越町介護予防・生活支援事業条例等の一部を改正する条例の議決をお願いするものです。調理困難な夫婦世帯からの要望等を踏まえ、ふれあい給食事業の対象者を拡大するため、関係条例を改正させていただくものでございます。

議案第5号につきましては、蘭越町過疎地域自立促進市町村計画の変更について、議決をお願いするものでございます。

過疎対策事業債の対象となる事業につきましては、この市町村計画に計上されていなければならないことから、今回、指定避難所公衆LAN環境整備事業ほか対象となる事業を、蘭越町過疎地域自立促進市町村計画に追加することにつきまして、議決をお願いするものでございます。

議案第6号につきましては、工事請負契約の締結について議決をお願いするものでございます。御成橋橋梁補修工事は、6月9日午前9時から指名競争入札を執行し、金額1億5,785万円で、佐藤・石田・高橋経常建設共同企業体、代表者佐藤建設株式会社、代表取締役小山茂則を契約の相手方として工事請負契約の締結をいたしたく、議決をお願いするものでございます。

議案第7号につきましては、令和2年度蘭越町一般会計補正予算第4号でございますが、歳入歳出それぞれ1億2,439万8,000円の追加をお願いするものでございます。

歳出の主な内容ですが、人件費につきましては、一般職員及び会計年度任用職員の人事異動に伴う給料、職員手当等、共済費の増減等でございます。総務費では、ハイヤー運行維持事業補助金280万円の追加、蘭越町地域活動推進協議会補助金240万円の追加、公衆無線LAN環境整備工事1,122万円、仮称港地区津波避難タワー建設工事4,210万円、蘭越中学校教室仕切壁撤去修理ほか820万6,000円の追加、学習用タブレットほか備品購入費1,807万1,000円、店舗等飛沫感染防止措置助成事業補助金200万円など、人件費の増減と併せまして9,951万2,000円の追加。

民生費では、蘭越町社会福祉協議会補助金241万4,000円の追加、一灯園及びグループホームらんこし燃料費等助成事業補助金196万円など、人件費の増減と合わせまして、934万2,000円の追加。

衛生費では、昆布温泉病院燃料費等助成事業補助金120万円、昆布診療所及び蘭越歯科診療所診療業務委託補助金2,559万7,000円、簡易水道事業特別会計繰出金868万6,000円の減など、人件費の増減と合わせまして868万5,000円の追加。

農林水産業費では、畑作構造転換事業補助金1,006万9,000円など、人件費の追加と合わせまして、1,833万7,000円の追加。

商工費では、人件費の増減などを合わせまして77万円の減額。

土木費では、緑ヶ丘定住促進住宅建物提案書作成報償金20万円など、人件費の増減と合わせまして、664万2,000円の減額。

消防費では、羊蹄山ろく消防組合負担金32万3,000円の追加。

教育費では、蘭越小学校バリアフリー改修実施設計委託料77万円など、人件費の増減と合わせまして、438万2,000円の減額となり、歳出総額1億2,439万8,000円を追加するものでございます。

歳入につきましては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金2,674万5,000円の追加、公立学校情報機器整備費補助金758万6,000円、公衆無線LAN環境整備支援事業補助金748万円、社会資本整備総合交付金3,030万円、畑作構造転換事業補助金10,006万9,000円、町債4,300万円の追加など、合わせまして歳入総額1億2,439万8,000円を充当いたすものでございます。

議案第8号につきましては、令和2年度蘭越町簡易水道事業特別会計補正予算第1号でございますが、歳入歳出それぞれ868万6,000円の減額をお願いするものでございます。

歳出につきましては、一般職員の人事異動に伴う給料、職員手当等、共済費の減額でございますが、合わせまして868万6,000円を減額するもので、歳入につきましては、一般会計繰入金868万6,000円を減額するものでございます。

議案第9号につきましては、令和2年度蘭越町農業集落排水事業特別会計補正予算第1号でございますが、歳入歳出それぞれ9万円の減額をお願いするものでございます。

歳出につきましては、一般職員の人事異動に伴う給料、職員手当等、共済費の増減でございますが、合わせまして9万円を減額するもので、歳入につきましては、一般会計繰入金9万円を減額するものでございます。

次に、報告第1号につきましては、令和元年度蘭越町一般会計予算第3条による繰越明許費に該当する事業について、繰越計算書をもって地方自治法施行令第146条第2項の規定に基づきまして、御報告申し上げます。

るものでございます。

報告第2号につきましては、情報公開条例及び個人情報保護条例の運用状況について、蘭越町情報公開条例第31条及び蘭越町個人情報保護条例第46条の規定に基づきまして、令和元年度の運用状況を報告申し上げます。なお、詳細につきましては、議案説明の時に、担当課長から説明いたします。

以上で、行政報告及提案理由の大綱の説明を終わります。

よろしく御審議をお願いいたします。

○議長（富樫順悦） これをもって、町長の行政報告及び提案理由の大綱説明を終わります。

○議長（富樫順悦） 日程第5、一般質問を行います。

質問の通告がありますので、順次発言を許します。

10番、熊谷議員、質問席へ着席願います。

○議長（富樫順悦） 10番、熊谷議員。

○10番（熊谷雅幸） 私から1点、質問させていただきます。

本年11月に任期満了となる次期町長選挙への出馬について町長に質問させていただきます。

今年の秋に町長の4年の任期が満了となります。

金町長の3年半にわたる町政を振り返りますと、財政規律を守りつつも、福祉・経済・農政・商工業・観光さらには少子化対策などあらゆる方面に力を注ぎ、その成果も着実に見えております。

また、町民との対話を重視した町政懇談会の進め方や町内で行われた各種イベントなどにも創意工夫がみられ、金町長が目指す「輝きのまち」づくりは確実に進展していると考えます。

町長は、令和2年度町政執行方針において、「少子化と併せて顕在化する諸課題に対応できる持続可能な地方自治のあり方を念頭に置いて、将来のあるべきまちの姿を構想し、そこから逆算して各種の計画を立てていく未来逆算型の発想も視野に入れ、引き続き、町民ファーストの行政運営を推進すべく決意を新たにしている」と述べられております。

今般の新型コロナウイルス感染後における様々な課題に対する舵取りも含めて、町民の期待も大きいものがあると思いますが、2期目への挑戦の決意をお聞かせ願いたい。

○議長（富樫順悦） 金町長。

○町長（金秀行） 熊谷議員の今年11月に任期満了となる次期町長選挙への出馬についての御質問にお答えいたしたいと思えます。

3月の第1回定例会において、永井議員から同様の御質問をいただき、任期満了までまだ期間があり、これまで実施してきた施策の検証や課題、更には今後、四年間の町政運営に関わる気力や体力を維持することが出来るかなど後援会と十分協議してお話をいたしたいと答弁させていただいたところでございます。

町長就任時の胸に抱いた使命と情熱を忘れることなく、町民の皆さんとの対話を重視し、共に町政を推進する事を私の基本スタンスとして、職員と共に行政運営に当たってまいりました。

熊谷議員より、その評価を頂き、感謝申し上げます。

この4年間の経験から、町の素晴らしい所、更には課題も見えてまいりました。本町は、清流日本一の尻別川や雄大な自然など数多くの魅力ある資源を有しております。

令和元年には開基120年を終え、先人の方々が、多くの苦勞と努力の積み重ねによって築き上げてきた「蘭越町」を次代へ繋げていくことが私たち世代における重要な責任であると考えております。

そのためにも今年度からスタートする「第6次蘭越町総合計画」の着実な推進が必要でございます。

基幹産業の農業振興、人口減少対策や子育て支援対策、地域医療対策、コロナ感染症対策を含めた防災対策など課題は山積しております。

また、私が町政を預かってからまいした種、施策を町民の皆様と共に育てて、そして収穫、成果を迎えられることが私に課せられた責任であるということも考えているところでございます。

また、私ごとになりますが、先日、後援会役員会が開催され、2期目の町政執行の舵取り役を頼むという温かい出馬要請も頂いたところでございます。このようなことから、熟慮に熟慮を重ねた結果、次期町長選挙に再度立候補させていただき、町民本位の明るく活力ある蘭越町の建設に全身全霊をかけて努力してまいりたいと決意を新たにいたしました。

今後、残された期間を全力で職務に取り組むと共に、町民の皆さんが安全で安心して暮らしていける町政の推進に努めてまいりますので、御理解願いたいと思えます。以上でございます。

○議長（富樫順悦） 熊谷議員。

○10番（熊谷雅幸） 立候補表明の後で大変嬉しく思います。再質問もどうかと思いますけど、簡単に2点ほど、お話と質問させていただきます。まず、成果と今後についてでございますが、少し前の町広報にも、誕生のお知らせで10人近くの、誕生したと嬉しい記述もありまして、私は、町長の子育て支援政策、住宅政策が十分に生きてきた証拠ではないかというふうに思います。これらは十分に今後も対応して推進を継続していただきたいというふうに思います。それと、コロナ対策につきましては、今朝の調査会社のレポートでは5月の売上が前年より減収した企業が87.4%という、非常に大きな減収になっているということでございます。経済常任委員会でも検証しましたが、3月の定例会後に、ここに紙ありますけれど、3月19日にいち早く対策を講じていただきました。ちょっと褒めすぎかもしれませんが、私はこの対応に感動すら覚えたわけでございます。これらは、いろんな質問出てますので、今回、回答はよろしいですけど、こういう成果は出てるということでございます。

2点目、今後の公共施設の運用についてでございます。

今後、財政も非常に厳しくなってくるやに、予想されています。

インフラに関しましては水道はじめ、最低限の整備は必要であります。

また、町内の公共施設も老朽化してきますので、今一度道筋をつけて、統合するのか、改修を行うのか、民間に売却して古民家としていろんな意味で活用していただくのか、この辺を十分にこの4年間で検討して、十分な道筋をつけていただきたいなという要望と質問させていただきます。最後になりますけれど、次の4年間にかける町長の決意をお伺いしまして、質問締めさせていただきます。

○議長（富樫順悦） 金町長。

○町長（金秀行） 熊谷議員の再質問にお答えさせていただきます。

私としては、新人として初当選させていただいて、4年目に入ってまいりました。これまで町民の皆さんそして後援会の皆さんのお力添え、御協力を頂いて町政を推進させていただいてるということで、感謝の気持ちでいっぱいでございます。

私の町政を推進する基本スタンスは、先ほどもお話をさせていただきましたが、町民との対話を重視して、そして共に町政を推進するということをスタンスにしながらですね、まちづくりというのは町民の幸せづくり、これが最終目標ではないかというふうに考えております。

今、議員からお話あったとおり、世界中が新型コロナ感染症という、こ

れはもう本当に大災害だというふうに思っております。その対策によって、感染抑制対策、さらには経済活動再開のための対策、この両方を行っていかなかったらならないということで、全国の町村が今、非常に苦勞している状況でないかなと思っております。様々な職種の方々が自粛した、この事によってですね、非常に減収となって、徐々に経済は回復していくというふうに言われていますけれど、これは元に戻るには相当な時間がかかるのではないかなと思っております。

そのようなことから、私としても、国や道の支援のみならず、町の支援が、これは重要であるというふうに考えております。

財政の確保、これについても、各関係機関と協議を進めながら、国・道からそういう支援を頂けるものは頂いて、ただし、町民が経済活動、感染対策、その分が必要だという分については、基金等の崩し、そういうものを含めながら、今必要なもの、その対策を、ぜひ議会の皆さんとも協議を頂いて、私は行っていく必要があるのではないかなというふうに思っております。ただし、その中では健全財政は保っていかないといいないというふうに考えているところです。よく、ウィズコロナの社会ということは今、非常に報道なんかでもされております。まあ、コロナと共に生きることを前提に、私たちの暮らしも変えていかないといいないかなと。これには町民の皆さんのいろいろな部分での協力というものも必要になってくると思います。

そして、ニセコ地域がまた元気になる、そういうことを非常に期待をしております。本町の基幹産業である農業、これを中心として、らんこし米のブランド化や高品質の作物、これに収益を上げて経済が回ることによって、町が活気づいてくる、そういうことに非常に期待をしているし、推進を図ってまいりたいというふうに考えているところです。

それと併せて、今後は人口減少対策もそうですが、交流人口の推進、これも力を入れていかないといいないと考えているところです。

先ほども答弁させていただきましたが、第6次の蘭越町総合計画の推進を図って、農業振興、人口減少対策、地域医療対策、地域交通網の整備、さらには一番重要な防災対策、その部分を町民の皆さんの理解を得ながら、町民の皆さんが蘭越町に住んで良かった、そして住み続けたい、住んでみたい、そう思えるようなまちづくりに職員共々、全身全霊をかけてまいりたいと考えております。

これからの詳細な施策については、また、後援会等とも相談しながらですね、早急に策定したいと考えております。

それと、2点目の公共施設の運営については、町では公共施設管理計

画というものを策定しております。それに沿って、今後それを共同してやっていくものとか、それを民間に委託していくもの、それぞれ計画を立てておりますので、それに沿って私は進めていくことが必要でないかと考えているところです。そのような中で、2期目に向かって、いろんな部分で私なりにいろいろ考えて、本当に体力、その分が続くか、気力、その分も十分考えた中で何とか今、私が行っている施策を皆さんの協力で何とか成果を上げたい、そのために頑張っている、そういう気持ちでおりますので、御理解を願いたいと思います。以上でございます。

○議長（富樫順悦） これをもって、熊谷議員の質問を終わります。
次に、6番難波議員、質問席へ着席願います。

○議長（富樫順悦） 6番、難波議員。

○6番（難波修二） 6番です。2点、質問をさせていただきます。

まず冒頭、ただ今、町長の立起表明を力強く聞かせていただきました。私も期待をしたいなとこんなふうに考えております。

併せて、2月以降、これまでのコロナウイルス対策に係る、町長はじめ職員の皆さんの努力に心から敬意を表したいとこんなふうに感じております。平常業務に加えての作業、しかも年度末、年度初めの大変忙しい時期だったので、大変だったろうというふうに推察しております。今後もまた続いてまいりますので、どうぞよろしく願いいたしたいところでございます。私の質問も、コロナ関連の2問でございます。

まず第1点目、国の第2次臨時交付金の活用についてでございます。

政府は、新型コロナウイルス対策の第2次補正予算案を国会に提出し、6月の会期末までに成立させる予定とのこと。去る12日に成立をいたしました。この中で、地方自治体に対する地方創生臨時交付金は、1次補正の2倍の2兆円が計上されています。1次補正の本町の配分額は約6,000万円でしたので、単純計算すると今回は1億2,000万円にもなります。巨額の交付額であり、住民生活への支援、地域経済を活性化させる新しい活動、コロナウイルスとの共存を図るために必要な対策などに有効活用することが必要と思います。

現時点で用途等についてお考えがありましたらお聞かせ下さい。

○議長（富樫順悦） 金町長。

○町長（金秀行） 難波議員の「国の第2次臨時交付金の活用について」の御質問にお答えいたします。

国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は第1次補正予算の中で、1兆円が計上され、本町では6,214万7,000円が上限と配分されましたので、議会の御理解を頂きながら、コロナ対策として各種事業を推進いたしているところでございます。

加えて政府は、5月27日、新型コロナウイルス感染症に伴う追加経済対策を盛り込んだ第2次補正予算案を閣議決定し、国会へ提出され、6月12日に成立いたしましたところでございます。

主な施策として、飲食店などの家賃支援、雇用調整助成金の日額上限の引き上げ等が予定されており、また、議員御指摘のとおり、地方公共団体向けの臨時交付金についても2兆円を増額するとされております。

この交付金の配分については、1次補正の算出においては、人口、感染状況、財政力等を踏まえ限度額が設定されましたが、2次補正予算の2兆円につきましては、事業継続や雇用維持への対応分は感染状況により配分し、感染予防のための新しい生活様式への対応分は財政力を重視し配分する方針を示しており、詳細は今後示されることとされておりますので、交付限度額についてはまだ未定でございますが、1次補正以上の限度額となるのではないかと予想しているところでございます。

臨時交付金の目的は、地方公共団体が地域の実情に応じて感染の影響を受けている地域経済や住民生活の支援をきめ細やかに実施することで、地方創生を図ることとされておりますので、目的に沿って、町での有効な事業を計画的に進めてまいりたいと考えているところでございます。

さて、現時点での用途等についてでございますが、コロナウイルスとの共存を図るために必要な対策として、今回補正予算で計上させていただいておりますが、小中学校感染症対策環境整備事業として、扇風機購入や網戸の設置、中学校普通教室の拡幅、また、公共施設感染予防対策事業として花一会図書館除菌ボックスの設置、オンライン会議用環境整備等を実施したいと考えております。

また、今後の取り組みとして検討しているものでは、情報発信の充実・ネット申請等を見込んだホームページのリニューアルや災害時の備えとして、避難所における資機材の整備及び更新を迎える行政通信システムバッテリー交換等、新しい生活様式を念頭に感染対策と生活環境の整備を進めてまいりたいと考えております。

いずれにいたしましても、新型コロナウイルス感染症はワクチンや治療薬が開発されておらず長期化が予想されますので、その対策にも苦慮

するところですが、直面する対策のみでなく、長丁場に備え、国道の支援で賄えない部分について、関係機関や住民の声を聞きながら、様々な分野で本町に必要な対策を講じてまいりたいと考えておりますので、御理解願いたいと思います。なお、町内企業等からもコロナウイルス対策のために寄付金をいただいております、その活用方法についても現在検討させていただいておりますので、併せて御理解願います。以上でございます。

○議長（富樫順悦） 難波議員。

○6番（難波修二） この質問を提出した時からもう約3週間ぐらい経っておりますので、それ以降状況が見えてきた部分もありますし、ただ今の御答弁で、あるいは補正予算案を見て、理解ができた点もたくさんありますけれど、いくつかお尋ねしたいというふうに思います。

個人への給付等につきましては、後々の議員からも質問がたくさんありますので、私からは省きたいというふうに思います。

今回も一部補正予算に、ただ今の答弁でもありましたように、公共施設の感染予防対策あるいは医療や介護現場、民間事業所の取組への支援等、予算を計上されている所もありますけれど、特に私は、農業や観光や商工業の、単にコロナウイルス感染の回復を図るというだけではなくてですね、回復から新たな展開につなげるというような、そういう新しい企画への支援という所にぜひ重きを置いて、これからも取り組んでいただきたいというふうに思っているところです。まだまだ検討の余地はあると思いますし、ただ今の答弁にありましたように、長期化していくということで、今回のその第2次補正の配分についてはまだ詳細が未定だということで、理解しておりますし、今回のこの議会に補正予算で上がってるその臨時交付金で上がってる2,600万円程度はその先食いと言いますか、そういうことなんだろうなというふうに思っております。

これからも追加で交付金の配分があるということですので、ぜひじっくりと関係者の意見要望を聞いてですね、有効な活性化のための事業を、計画作りを目指してほしいと、総合的なことですが、そういうことにぜひ努めてほしいということで、再質問させていただきます。

○議長（富樫順悦） 金町長。

○町長（金秀行） 難波議員の御質問にお答えをいたしたいと思います。

議員がおっしゃったとおり、今後の活用方法なんですけど、実は先般、商

工会会長からですね、コロナ対策の感染に対する要望書というのを頂きました。その中で私は、その町民の商工業も含めた部分の中の、まず対策を進めるということで、それも補正予算等に上げさせていただいた経緯もあります。それと議員がおっしゃった他の団体、そういう所からもいろいろ意見を聞いて、それをコロナ対策に反映していくという御意見ですので、私もそのような形で進めたいと考えておりました、実は担当課のほうでも情報共有をするように、各関係団体のほうに、今回のコロナ対策において非常に何か困っていることとか、今後の対策等の部分の中で、検討していくための意見等を聞きなさいということで指示をいたしているところでございます。

議員が先ほどおっしゃった、私もコロナ対策は長期化という部分が考えられるし、その長期化に見据えた対策が必要というふうに考えております。影響等の情報交換、そしてその必要な対策、これについては計画書を策定してですね、国のほうに今後提案していきたいと思っております。

まだ実施計画の提出期限というのは、まだ未定という状況でございますので、私からも先ほど言いました、早急にまたいろんな団体、そういう所に再度また御意見等を聞いて、そして町民からの御意見等もあったものを含めながらコロナ対策、そして先ほど議員がおっしゃった、新たな展開というかそういうものにつなげていくような、そういう予算を、計画を組んでいければいいなと考えているところでございます。

いずれにしても、このコロナについては長期化が予想されています。

皆さんが非常に、自粛をして我慢をさせていただいてる、その中から、やはり生活様式と言いますか、そういうものもコロナと一緒にあって当面は行っていかなかつたらならないということ、町としてできること、そういうものを十分に内部で検討して進めてまいりたいというふうに考えておりますので、御理解を願いたいと思います。以上でございます。

○議長（富樫順悦） 難波議員。

○6番（難波修二） 前向きな答弁ありがとうございました。

次に、少し具体的なことをお聞きしたいと思ってるんですけど、今回の国の第2次補正予算には緊急包括支援交付金という、そういう、これは医療体制整備のための事業ということになっています。そのなかで都道府県が事業主体になって、医療や福祉関係の職場で働いている方々への給付金制度ができたはずでございます。感染者に対応する看護師さんや介護士さんには20万円、それ以外の方には、どういう事業所であっ

ても5万円を支給しますと、テレビ等でも新聞でも見ましたので、それが、感染者はおりませんので5万円の部分ですね、町内の医療機関やあるいは福祉事業所、施設はこれらは該当になるのかという所はちょっと気になっておりました、あるいはその民間の社会福祉法人とか医療機関、あるいはその町で直接やってる介護事業所などについてはどうなるのかという、この辺が非常に関心のある所でございます。それと、その従事している従業員の職種によって対象になる、対象にならないということが出てくるのかですね、そういう所が、まだ詳細が定まっていないということです、分からないのかもしれませんが、もし現時点でわかる状況があればお聞かせいただきたいと思います。よろしく申し上げます。

○議長（富樫順悦） 金町長。

○町長（金秀行） 難波議員の、新型コロナウイルスの緊急包括支援交付金、この分について、今、町のほうで知り得ている分について話をさせていただきたいと思います。

議員がおっしゃっているとおり、今回の2次補正で医療提供体制等の強化ということで、この交付金が2兆2,370億円、これ追加してということで、医療分として1兆6,279億円、介護として6,091億円が支給されると、予算措置されているというふうになっております。

実はですね、昨日、後志総合振興局と、先ほど行政報告で申し上げましたウェブ会議の中でもですね、実は今、議員がおっしゃった質問の内容のことが出ました。実はその中で議員がおっしゃった、医療分については対象は、都道府県が役割を設定された医療機関に勤務して、実際にコロナ患者の診療などに当たった機関は20万円だと。それと、当該医療機関に勤務しながらも実際にコロナ患者の診療がなかった場合は10万円、その他、議員がおっしゃった病院、診療所、訪問介護ステーション、助産所に勤務していると、そういう医療従事者、職員は5万円を給付するということとなっております。介護分については、感染症が発生した濃厚接触者に対応した施設、事業所に勤務している方には医療金として20万円、その他の施設には医療金5万円を支給するという、そういう概要なんです、先ほど言いました、後志総合振興局の部長の話の中では、繰り返しになりますが、実は概要がまだ、その中でどれだけ出るというのが分かっていないという、そういう答弁でした。私どもの担当もですね、先般、道の保健所のほうに確認したんですが、道でもまだ詳細については整理している段階だということで、診療所も含めた町内医療機関ま

た介護サービス事業者の従業員全てがこれに対象になるかどうかというのは、今現在では明確に答えられる、そういうような情報はない状況でございます。そのようなことから、今、議員がおっしゃった、この交付金についてですね、今後、分かり次第情報があれば事務所の事業所のほうにも情報提供するとともに、町のほうでも早急にその辺の情報を集めたいなというふうに思っているところでございます。また、非常に、地域医療の確保として、一般の病院、診療所、保険薬局に対して、診療継続に必要な感染防止対策、これは非常に必要だなと考えておりますので、この交付金、どれだけ支給されるかっていうことはまだ現在、未定でございますが、この医療が崩壊するとコロナ対策は進まないということは、私も認識しておりますので、情報入手しながら、町としてもそういう協力できる分があればまた検討していきたいというふうに考えておりますので、御理解願いたいと思います。以上でございます。

○議長（富樫順悦） 難波議員。

○6番（難波修二） すいません、最後に。収束まではまだまだ時間がかかるということで、今、答弁あったように、医療関係もその感染予防対策というと、いろいろ希望があると思うんですよね。あるいは今、建設中の統合診療所の出来上がり待つ状況ですけど、4月からの開業に合わせて、もしさらに付け加えるようなものがあれば、そういうことへの対応もぜひ検討して行って欲しいなというふうに思いますので、お医者さんとの協議ですね、あるいはその医療介護等の現場の声をぜひ吸い上げてほしいと思います。

実はこういうことがあるんですけど、全国の福祉施設では、今回の10万円の給付金、あるいはこの5万円の関係で、特にパートの従業員の方は入ると。そうすると、配偶者控除の限度額の関係で勤務日数を減らして欲しいとそういうジレンマがあって、実は小さな介護事業所の現場は、勤務日の割振りで大変なんだということを、全国のそういう所で状況が発生してるということがありました。それらに対して町で何か手立てができるかということ、それはなかなか難しいんですけど、そういう現場の声に耳を傾けてですね、事業運営の苦勞を受け止めて、全面的な支援をお願いしたいということ、お願い申し上げて、質問を終わりたいと思います。

○議長（富樫順悦） 金町長。

○町長（金秀行） 難波議員の再質問にお答えをしたいと思います。

前段、行政報告の部分の中で、実は2次医療圏の倶知安厚生病院の強化についてという部分でも、私は今回の2次補正の部分の中で、道のほうが事業主体なものですから、強化をお願いしたいというところを、昨日実は要請したところです。それと併せて、議員が今おっしゃったとおり、その地域医療という、1次医療、2次医療という分があるものですから、町内の医療機関、ここの部分はきちっとした対策はいろんな部分でしていかなかったらならないなというふうには考えているところです。

新型コロナウイルスの感染対策、これについても、今建設中の統合診療所の部分の中で、これからその感染に向けて、いろんな部分の中で協議なり、その分も必要ではないかなというふうに思っております。

そのような中から、できれば私としては内部のほうで、副町長なりとは相談しておりますが、早く専任の担当の職員というか、そういうものも配置しながら、そして先生と、今もやっていますが、そういうものを綿密に協議をして、オープンに向けていくというような体制をきちっと早めにとっていくことも必要だと考えております。

いずれにいたしましても、新型コロナウイルスは長期間かかるということでございますので、町民の命を守る、その医療機関というのは大事な場所でございますので、町としてできる範囲に、先生方のお話を聞きながらですね、また費用がかかる分については、議会のほうと相談して対応してまいりたいというふうに考えておりますので、御理解を願いたいと思います。

○議長（富樫順悦） ここで、難波議員の1項目の質問が終わりましたので、ここで休憩をしたいと思います。再開は11時15分といたします。

○議長（富樫順悦） 再開いたします。

休憩前に引き続き、一般質問を行います。

難波議員、2項目の質問に移って下さい。 「難波議員」

○6番（難波修二） 教育長にお尋ねします。再開した学校の学習指導についてでございます。2月下旬から断続的に行われた学校の臨時休業も再開され、児童生徒や保護者の喜びは大変大きいと思います。経験したことのない感染症予防への対応について、これまでの教育委員会・学校の取組に敬意を表したいと思います。

約3か月間に及んだ学習の遅れを、児童・生徒に与える心身の負荷に

配慮しながら取り戻すことは大変だろうと思います。

今後の学習指導や学校行事などの取扱いについて、国・道の方針と教育委員会のお考えをお聞かせ下さい。

○議長（富樫順悦） 首藤教育長。

○教育長（首藤一幸） 難波議員の「再開した学校の学習指導について」の御質問にお答えいたします。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、北海道教育委員会からの通知と国の方針により本町の小中学校では、2月27日から春休みまでと、4月20日から5月31日まで臨時休業としています。

また、各学校の卒業式、入学式についても、感染防止を図るため、保護者や在校生、来賓の制限、祝辞等の文書配布など時間を短縮し、簡素化して開催したところであります。臨時休業中は、各学校から子どもたちへの学習課題等をプリントして配布したり、健康状態の把握や学習の課題の提供、指導などのため、少人数登校となるようにして分散登校を実施してまいりました。長期休業による、今後の学習指導と学校行事などの取扱いについての御質問であります。2月27日から春休みまでの臨時休業は、学校によって18日から20日間の休みとなりましたが、各学校とも学年末ということで、小学校6年生、中学校3年生は、年度内に履修すべき授業は終了しており、他の学年についても未履修の時間は少なく、令和元年度分の未履修分の授業については、4月6日の入学後、小学校は4月7日から4日間の中で、中学校は4月7日から4月15日の中で、新2年生は5時間、新3年生は6時間の授業を行い、前年度に予定していた全ての内容を終了しています。4月20日から5月31日までの休業日数は、26日間ではありますが、文部科学省からは、臨時休業に伴う学びの保障について、「学校の新しい生活様式」を参考に、感染予防を徹底した上で学校を再開するよう通知が来ております。また、「学びの保障」については、国の通知を受け道教委から大きく4点について示されており、一つ目は、これまで指導できなかった内容を確実に実施できるよう、家庭学習との組合せや指導順序の変更などにより、学習活動の重点化を図るとともに、長期休業期間等における登校を設定すること。

二つ目は、小学校6年生、中学校3年生については、年度内に学習指導要領に示された全ての内容を身につけさせること。三つ目は、最終学年以外は、様々な工夫を講じたうえで、やむを得ず一部の内容を次年度以降に移す際には、次年度に必要とする授業時数を更に加えること。

四つ目は、学校再開後も再び臨時休業や分散登校を行うことを想定し、ICTを活用した家庭学習支援の指導を行うことができるようにしておくことと示されております。

本町におきましては、子どもたちが臨時休業後にスムーズに登校し円滑に学校生活を営むことができるよう、臨時休業中の学習の課題や指導を行うとともに、段階的に分散登校の回数を増やしてきたところであります。また、子どもたちの食事支援として、給食弁当を小中学生全員に配達するなど、休業中の子どもの学習や生活の支援に努めてまいりました。

臨時休業に伴い各学校では、大幅に授業時数の不足が生じておりますが、不足時数の回復と学習指導要領に定める内容を身につけるため、夏休みなどの長期休業期間の短縮、始業式、終業式の時間数の増加、木曜日の5時間授業の見直し、学校行事や研究研修内容の精査、予備時数の調整などにより、標準時数の確保を図ることにしており、各学校、各学年とも子どもたちの精神的な負担に配慮しながら、本年度内に不足している授業の回復ができるものと考えておりますので御理解願います。

○議長（富樫順悦） 難波議員。

○6番（難波修二） 説明で大部分は理解ができました。一般的に年間の授業日数というのは、学習指導要領で定められた時数以上に余裕の時数、日数と言いますかね、そういうのがあるので、それを充てると、さほど夏冬休みを短縮しなくても、余裕時数を充てることでカバーできるという、そういう仕組みになってるんですけど、それにしてもこの4月5月の休業でカットされた時数というのは相当多いというふうに思いますので、今のお話ですと、なんとかこれからその日課をやりくりで年度内にはなんとかカバーできるだろうと、そういう見通しだという、そういう答弁だったと思いますけど、やはり今、よく言われますけれど、第2波、北海道のは第3波が来るのではないかと、当然来るだろうと思いますし、それと冬場のインフルエンザがもし仮に流行るとすれば、これだけ気をつけているとインフルエンザ、今年の冬はあまりなかったようですけど、これからのインフルエンザの到来等を考えると多分こなしていけるだろうと、そういう憶測で、これからの授業の日数をカウントしていくというのはちょっとやっぱり、学年末になっていや、ちょっと厳しいなとならないように、ある程度ゆとりを持って夏休み冬休みというのをしっかりこう短縮するという、そういうようなこう思い切った、それこそ余裕を持ったこれからの授業日の設定というんですかね、そういうものをぜひ

やっていって欲しいというふうに思います。

不測の事態を想定して、余裕を持った回復計画を立てて欲しいと、そういうことをぜひ教育委員会からも各学校にお願いをして、第3波あるいは冬場のインフルエンザの到来なんかにも備えるような、そういうこれからの学校の教育課程を編成してほしいと、いうふうに思いますけれども、改めてお伺いしたいと思います。

○議長（富樫順悦） 首藤教育長。

○教育長（首藤一幸） ただ今の難波議員の御質問にお答えいたします。

臨時休業に伴う授業の不足時数については、各学年各学校によって異なりますけれど、それぞれ今、議員おっしゃるとおり、ゆとり時数を除くと、昆布小学校では、6年生が一番多いんですけど、61時間、蘭越小学校では88時間、蘭越中学校の3年生は91時間となっています。

不足時数を解消し、児童生徒に学習を身につけさせるため、小学校では夏休みを1週間短縮し、8月1日から8月17日までというふうに、また、始業式終業式の授業時数の増加、また、運動会や学芸会などの学校行事の内容を簡素化したり、後志教育研究会や第2ブロック研究会の活動も今年度休止となったことから、研究研修の活動の時間を授業に充てることができ、教育課程を見直すことによって不足時数の回復ができるものと考えております。小学校については冬休みの短縮を現在検討してありますが、中学校につきましては、小学校より不足時数が多いことから、夏休みは2週間短縮し8月8日から8月18日までとし、冬休みについても3日間短縮することとしており、長期休業以外の対策については、中体連・中文連の中止と小学校と同様の対応をして授業時数を確保してまいりますが、それでギリギリかと言いますと実は、そうすることによって予備時数もかなり何十時間か生まれてきておりまして、ギリギリではありません。また、その学校によりましては、冬休みを短く見ることによって、2学期中にまた、臨時休業が来た場合には冬休みを長く休むとか、3学期に来た場合には終業式をずらせるとか、そういうことも想定しながら、ある程度余裕を持った中で授業回復を図っていきたいと考えておりますので、御理解を願いたいと思います。

○議長（富樫順悦） 難波議員。

○6番（難波修二） 十分余裕を持って計画を作っているということで、了

解をいたしました。

次に、オンライン授業についてお聞きしたいと思います。

先ほど答弁にも一部ありましたし、それから今回の補正予算案にも機器購入費が計上されておりますが、今後の学校教育にオンラインを活用した授業は、決して万能ではないけれど、必要なものになるだろうと私自身も認識をしております。そこで大事なのは、ハード面の整備は国が全額でやれということのようですから、それはまあハード面の整備はできるわけですが、オンライン授業するにあたってはやっぱり、学校現場のソフト面の対応が非常に大事だろうというふうに思っております。

具体的にオンライン授業を実施できるようにするためには、先生方の指導技術の習得と、それをやっぱり着実に実践できる力というのが、まずやっぱり、そこは大事だろうというふうに思います。もう一つは、子ども達がタブレット、端末をきちんと操作できると。学校内でそれを活用する場合にはいいんですけど、それをその休業とかで家庭に持ち帰って使うという場合には、それが子ども達が使えなければ授業にならないだろうと思いますし、低学年ではなかなか難しさもあると、そういうことがあると思います。もう一つは保護者の理解を深めるということも不可欠だと、こういうふうに思うわけですが、それらについて今回、今年度中にハード面の整備ができるにしても、これからのそれを具体化していく上での、今申し上げましたような3点の今後の進め方についてどのように考えておられるか、お伺いしたいと思います。

○議長（富樫順悦） 首藤教育長。

○教育長（首藤一幸） オンライン授業の御質問についてお答えいたします。先ほど最初の答弁でもお話ししましたとおり、国や道教委では、学校再開後も臨時休業や分散登校を行うこととなった場合を想定し、ICT環境の整備とオンライン授業の取組を推進しております。ICT環境の整備につきましても、国ではGIGAスクール構想の前倒しを行い、本年度中にタブレット等の整備を推進していることから、本町におきましても、今回、各小中学校に一人一台のタブレットの整備を補正予算として提案させていただいております。

オンライン授業を行うためには、学校と各家庭がWi-Fi環境が整っている中で、パソコンやタブレットが必要になることから、5月下旬に各家庭保護者のWi-Fi環境やタブレット等の保有状況について調査いたしました。その結果、タブレット等の貸し出しが必要な家庭には学校から

の貸し出しを行うことと Wi-Fi 環境のない家庭には、モバイルルーターの設置が必要となるため、必要台数を今回補正予算として計上させていただいております。また、ICT 環境の整備やオンライン授業を推進するためには、やっぱり私たちも、喜茂別町でやってるということで授業を見させていただきに行ってまいりました。

やはり初めてということで先生達も戸惑っている中で、教育委員会と連携して授業を行えるようになりましたが、何回か予備練習をすることで、そのためには研修会の参加や専門的な知識を有する方の支援も必要ですので、今回、ICT サポート支援員の配置につきましても、予算計上させていただいているところであります。次の休業が来るまでの間に、そういうシステムの研修や練習を行ったり、先生たちと一緒に教育委員会の職員も、どういうふうになればスムーズに使えるかと準備を進めたいなというふうには考えておりますが、御指摘のあった低学年につきましても、私たちが喜茂別に見に行ったのは5年生と6年生の授業で、低学年についてはどこまで対応できるかと言うと難しい部分もありますので、その部分について事前にどこまでが可能か、例えば高学年がオンライン授業やってる間は低学年は密にならないように分散登校するなど、いろいろな工夫をしながら対応を考えていかなかったらならないというふうに考えております。いずれにしても、オンライン授業については、どうしても長い休みになるとこれからはそういう時代かなと思いますけれど、いろいろやっぱり技術的な部分とか、課題も多くありますので、慎重に対応していきたいというふうに考えておりますので、御理解願いたいと思います。

○議長（富樫順悦） 難波議員。

○6番（難波修二） 最後にします。やっぱりこう熟達するというんですかね、先生たちが慣れるということが大事かと思えます。最近のテレビ番組を見てますと、オンライン出演と、テレビ画面で出て、やっぱりギクシャクしますよね、そのMCとのやり取りというのを聞いていても。そういうことがやっぱり子ども達との授業で、やっぱり円滑にするためには、繰り返し繰り返し、そういう技術を習得するということがやっぱり絶対必要だろうと、そういうふうに感じますね。ですから、そこで町独自でも専門家を招いて、何回も繰り返し指導をしてはどうかということをお願いしたんですけど、そういうようなことも含めて予算にも計上されているということですので、安心をしましたけれど、ぜひそういう、せ

っかく国が100%で整備をするということですから、それがうまく利用できるように、どこの学校でどの担任の先生でもそれが使いこなせるというふうにしていくことが大事だろうと思います。

最後にですけど、子ども達同士とかあるいは先生と子どもが気兼ねなく触れ合えるようなことにはまだまだ、いくためには時間かかるだろうとそんなふう感じております。子ども達の心身の負担は非常に大きいと思いますけれども、それにつけてもやっぱりこれまでと、今後も先生方の努力の負う所は非常に大きいとそういうふう感じております。

ぜひ、学校への声援や、あるいは教職員への激励、そういったことについて、私たちもやっぱり努めてエールを送るという、そういうことをやっていかなければ、なかなか学校での子ども達の完全な、本当に豊かなものになるということは時間がかかると思いますので、ぜひ教育委員会でも努めてそういう所に気を配ってほしいと。併せてやっぱり、例えば消耗品費とかそういうものは絶対に必要になるだろうと思いますので、そういうところの予算の措置とか、あるいは先生方の、今言ったような研修を重ねるといったことについての研修費の増額とか、そういうことも含めて、物心両面での支援をお願いして、質問を終わりたいと思います。

○議長（富樫順悦） 首藤教育長。

○教育長（首藤一幸） 御質問にお答えいたします。

議員おっしゃるとおり、今回のコロナウイルスによりまして、先生たちも初めての対応ということで、休み中の子ども達の支援、また、学校始まってからの体調に配慮した中での授業をどのようにしていくか、やはり休みが長かったということで、先生たちにとっては、教科書に沿った上手な課題を提供して、授業が円滑に行われている部分もあるんですが、とはいってもやっぱり個々を見ますと、学習の遅れを感じる子はいないわけではありませんので、そういう部分については校長先生も教頭先生も皆さん入って、学校全体で個に応じた対応をしているなというふう感じております。先生たちの努力に対してエールを送るということに対しては、ありがたい言葉だと思っておりますけれども、私たちも校長会等を通じまして先生たちの頑張りには感謝しながらもですね、これからもいろんな面で、そして感染予防ということで教室、毎日終わった後に拭いたりなんなりと御苦労も非常に多いので、そういう部分で消耗品等も含めて、そういう消毒について不足を生じないように、学校と連絡を取りながら対応をしてまいりたいというふうに考えておりますので、御理

解を願いたいと思います。

○議長（富樫順悦） これをもって難波議員の質問を終わります。

○議長（富樫順悦） 次に、3番永井議員、質問席へ着席願います。
3番、永井議員。

○3番（永井浩） 私からは1点、新型コロナウイルス感染症対策に係る各種支援事業の対象外の解雇労働者の救済について質問させていただきたいと思います。

本町における、新型コロナウイルス感染症対策事業は、町民への直接的対策事業として、「らぶちゃんふるさとエール便事業」、「図書カード配布事業」、「休校時給食支援事業」、「感染拡大防止のためのマスク町民配布事業」などや、商工関連に対する支援策として、「消費喚起対策事業」、「休業協力金事業」、「中小企業融資緊急支援対策事業」など様々な支援対策事業が執行されております。また、これらは、国や道の施策よりもいち早く執行されており、町民は助かって喜んでおります。

また、持続化給付金、雇用調整助成金、休業協力支援金など町は直接の窓口ではないにもかかわらず、相談対応もしているとのことで、大変感謝されております。しかしながら、これらの対策事業の対象とはならない、漏れている労働環境の方々がおられます。例えば二セコ周辺のホテル等で清掃作業に従事していた方が、ホテルが休業し、清掃業者が撤退したため4月に解雇され、現在ハローワークで求職中の方は、失業保険には加入していましたが、月の給料が平均11万円程度で、失業保険は初めてもらったのが4万円程度で、今後もういくらもらえるのかわからない、不明であると。これは11月が限度であるということでした。またその方は、私は清掃などの簡易な作業しかできないということもおっしゃってございました。また、毎年、農繁期に日雇いで農家さんで働いていましたが、1日当たりで、12,000円から15,000円頂いていた、ところが今年は二セコ周辺に暮らしてる帰国できない外国人が8,500円程度で働いていることから、今年は断られた、そういう方もいらっしゃいます。さらには、飲食店で、毎日ではないが夜4時間程度アルバイトしていた方は、休業のため所得が無くなった、雇用保険未加入のため、雇用調整助成金の対象にならない、この助成金は、休業中の給与を支払った業者に支給するものですが、そもそも事業者が休業期間の給与を支払うだけの経済力も無いのが実情です。このようなことから、本町の活性

化や経済の下支えにもなっている方々への対策を講じるべく、実態を至急調査することが必要ではないでしょうか。国では新たに地方創生臨時交付金を2兆円追加補正することで閣議決定しており、蘭越町へも一定程度の交付があると思いますので、それを財源として救済することができないものか、町長にお伺いいたします。

○議長（富樫順悦） 金町長。

○町長（金秀行） 永井議員の「新型コロナウイルス感染症対策に係る各種支援事業の対象外の解雇労働者等の救済について」の御質問にお答えします。

この度の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う各方面への影響を考慮し、国や北海道はもとより、本町においても早い段階から各種の支援対策等を取り進めてきているのは、御承知のとおりでございます。

一方で、議員が例示されましたとおり、それらの制度などでは救いきれない困窮者がいることもまた事実としてあることは、想像に難くないところであります。

これら生活困窮者の実態については、預貯金等資産の有無や家族構成、生活水準などによって、困窮度合いが異なるなど、多種多様であると考えており、その把握には困窮者等からの声を聞き取ることが必要と思っております。そのようなことから、今後、そうした声を捕捉するため、役場において、各課で相談対応できる体制づくりを指示したところでございまして、町民に各種制度の周知を図っていくことで、困っている方に対するケアをしていきたいと考えているところです。

例えば、給付制度以外にも社会福祉協議会では、生活困窮者に対して緊急小口資金等の特別貸付を実施しておりますし、既存の制度の中でも、税や水道料などの徴収猶予や公営住宅の家賃の更正、国民健康保険税の減額などケースによっていろいろな救済制度が用意されているところでございます。こうした制度を十分に活かしていけるよう、状況に応じて適切な対応ができるようにしていくとともに、その中で、必要な施策、支援を講じていきたいと考えております。

新型コロナウイルス感染症拡大への対応は、長期戦になることが懸念されており、現実になろうともしています。そうした状況も踏まえ、今後予定されている地方創生臨時交付金の使途については、町民の生活に活かされるよう、充分協議検討を進めていきたいと考えておりますので、御理解願いたいと思います。以上でございます。

○議長（富樫順悦） 永井議員。

○3番（永井浩） 確かに、町民の困窮度を調査するというのはなかなか難しいことだと思いますが、例えば今の実例を挙げた、掃除をやられている方みたく、いつも11万円もらっていたけども今回4万円でしたと言ったらもう、融資だとか公共料金の減額とか言うよりも、やっぱりお金が、生活資金が全くないので、そういう人たちに助成したり、給付したりするということが大事だと思うんですね。目先の政策かもしれないんですけど、例えば使用者が、去年頼んでただけど今回こういう事で頼めなくなったとそういう証明があれば、その部分がある程度一定額給付してあげるとか、これ直接的支援が必要だと思うんです。やっぱり借りた金は返さなきゃいけない、今大変なのに、借りてそのお金を返せるかという不安があるから借りられない実情にあるわけなので、確かに蘭越町としてはやりやすいのは公共料金の免除だとか減免、そういうのは確かに楽だと思います。簡素化してやっぱりそういう申請制度を作って、それを受けたら使用者が休業のために何日から何日まで休んで、その間いつもだったら普通だったら週に3回来てる、その3回の4週間休んだら3×4、12日分をなんとか支給できないかとか、そういう直接的な支援をそういう労働環境にある方になんとかできないものか、確かに町長言ったように、別にいっぱい所得があって、本当にアルバイト、ちょっと自分のお小遣い稼ぐために働いてて、支援しなくてもいいんじゃないという人もいるかもしれないんですけど、実際に困っているから働いてるという方もたくさんいらっしゃるんで、それとか、公共事業が出が悪いので、ちょっと今来なくて、何日間か休んでくれないか、出勤しないでくれとかいう作業員の方も何人かいらっしゃいます。そういうのも含めて、被害というか確かにコロナ被害かもしれないですけど、そういう方々に直接支援できることを提案しているのもあって、ある程度お金を貸すからとかそういう制度がありますという紹介でなくて、先ほど聞いたら各課に聞く所を作ると言っていましたけど、そういうことをやりますよという発信をして、困ってる方が、私こうこう、こうなんですけど、と相談に乗れる所を、各課でなくて一つにまとめてやれないものなのではないでしょうか。

議長（富樫順悦） 金町長。

町長（金秀行） 永井議員の御質問にお答えいたします。

議員から直接支援ができないかという分でございます。非常に、どこ

まで本当に支援ができるのかというのは、かなり難しい部分もあるのかなと思っております。現実にコロナウイルスの、今、議員がおっしゃったとおりですね、外国人労働者の方々が残ったということで、後志総合振興局の中でマッチングプランというものを行った中で、外国人労働者の方々を雇用を導いていくと。その導いた中で、今まで働いていた方々が外されたという経過、その分が議員おっしゃったとおり、私もその分を聞いている部分もあります。で、その困った人がたをどこまで直接支援するかということについては、やはり相当、いろんな条件も含めた部分の中で検討していかなかったらならないかなと思っております。

直接支援という部分と、間接的ないろんな支援での部分があると思います。そういう意味で、実は新型コロナウイルスの総合対策窓口というものをですね、実は答弁の中では各課に、と言いましたが、大きな一つの窓口として、商工労働担当課長を当面の総合窓口として決定をいたしました。そして、各課において、それぞれ新型コロナウイルスの担当職員を配置をして、そしていろんな町民の方々の相談、そういうものをきちっと吸い上げながら、町として次の段階で支援またはいろんな手立てをできる、そういうものがないかというふうに努めてまいりたいと考えているところでございます。議員がおっしゃった、本当に困っている人がたに対して、直接的な支援をお願いしたいと、議員がおっしゃっている部分も十分、わからないのではないのですが、その事がどこまでできるかというのは、いろんな状況を考えながらですね、今、役場にその相談窓口をきちっと配置をして、そして町民の方々にその周知をしながらですね、これが本当にこの中で困って必要だという部分については、また内部で十分協議した部分の中で、また議会とも相談して検討したいなというふうに考えているところでございますので、御理解を願いたいと思います。

そして今、国のほう、道のほうでいろんな支援策がどんどん、どんどん毎日のように出されているような状況なんですね。そういうこともきちっとわかりながら、町の職員もきちんと認識してこういう制度があります、こういう支援があります、そういうこともきちんと町民の方にお知らせできる、そういう体制を整えていきながら、最後に本当にこういう人がたが、ということになれば、いろんな国の制度も含めて、町としても考えなければならないと思いますので、御理解を願いたいと思います。

○議長（富樫順悦） 永井議員。

○3番（永井浩） まあ確かにそれは制度としてはすごくいいし、国のほ

うもいろいろその制度に乗っかるのもいいですが、やはり直接的にと言うのは、例えば1日時給1,000円で働いてて4,000円もらっていたと、それを全額というわけではない、例えば半額の2,000円くらいは面倒見ましょうというくらいの程度でも、大変喜ぶと思うんですね。

ちゃんと私たちのこと見てくれてるって。そういうことができないかなという話なんですね。そういう人たちは制度自体知らないですから、全く。役場行くこと自体もなんとなく敷居が高いという人たちなんですよ。そういう人たちに、何々制度があるから申請してくださいと言ったって絶対申請しないと思います。逆に、役場が窓口になって、直接町民を助けてあげますから、あなた方1日にいくら、何時間で何本働いてました、全額はやれないけど半額で我慢してください、でも一生懸命それで生活してもらえませんかというようなお見舞金みたいな形ででもやると、やはり喜んでいただけるし、ちゃんと町は私たちの事認めてくれてるんだなという意識が生まれると思いますので、その辺いかがなものですか。

○議長（富樫順悦） 金町長。

○町長（金秀行） 永井議員の御質問にお答えします。

議員のおっしゃってる分は私も十分理解している部分でございますが、その部分をどういう形で支援するかということについては、やはりもう少し内部で検討が必要ではないかと思っております。今回、各、全国民に一人10万円というものが支給をされました。その10万円の中ではいろんな、それを生活に充てる人、今回のコロナの対策に活用する方、いろんな方がいると思います。そういうある程度平等な部分の中で、その支援をしてあげる方法と、そして議員がおっしゃった、本当に困っている方々に対して、町として独自の支援というものができないかというものでございます。今その分についてはちょっと即答は勘弁願いたいと思っておりますけど、そういう困っている人がたの態勢を、実は役場のほうではコロナウイルスのためにこういう課を設置して対応を取っているの、気楽に来てくださいということをも、そういう周知を大至急図りたいということと、それと併せて、本当にこういう状況があるんだということもあって、これが本当に支援として必要だと思った場合は、議会、それと関係機関、そういうものも含めながら、検討してまいりたいと思っておりますので、この点については十分内部で検討させていただきたいという分、答弁にさせて、代えさせていただきた

いと思います。以上です。

○議長（富樫順悦） 永井議員。

○3番（永井浩） ありがとうございます。十分、検討していただきたい
と思います。

また、ハローワークにちょっと確認したらですね、今失業保険頂いて
てもですね、労働賃金以外の所得で、こういう場合の給付金頂いても失
業保険等の減額はいたしませんからという話も伺ってますので、少しで
も補助できるように考えていただきたいと思います。終わります。

○議長（富樫順悦） これを持って、永井議員の質問を終わります。

○議長（富樫順悦） 次に、1番金安議員、質問席へ着席願います。
1番、金安議員。

○1番（金安英照） 私のほうからは、昆布100年の森記念公園パーク
ゴルフ場の維持管理について、町長にお尋ね申し上げます。

北海道でも、緊急事態宣言が解除され、規制緩和により少しずつ日常
の生活が戻りつつありますが、基本的な感染予防と、個々の衛生管理の
維持継続は、まだしばらく続くものと感じており、早期収束を願うとこ
ろでございます。

本町でも6月1日より町の各施設が順次開館、営業を始めております
が、昆布100年の森記念公園パークゴルフ場を見てまいりましたとこ
ろ、町内外問わずに、多くの皆さんが満を持してと申しましょるか、利用
し、前向きで健康的にプレーをしている姿を拝察させていただいたとこ
ろでございます。

当パークゴルフ場は、本年より新たな業者が維持管理することとなり
ましたが、それに至りました経緯と1年間どのような作業内容で維持管
理されるのかお伺いします。よろしく願いいたします。

○議長（富樫順悦） 金町長。

○町長（金秀行） 金安議員の「昆布100年の森記念公園パークゴルフ
場の維持管理について」の御質問にお答えいたします。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、緊急事態宣言が発令され、

屋外活動も制限されておりましたが、5月25日に北海道の緊急事態宣言が解除されたことを受け、本町においても、6月1日から各施設の利用制限を解除し町民の皆様に利用いただいているところでございます。

さて、町の施設の一つでもある昆布百年の森記念公園パークゴルフ場の維持管理に関しての御質問でございますが、本町では、当該パークゴルフ場のほかに吉国自然公園や大谷公園、せせらぎ公園など全部で15か所の芝生管理を民間業者に委託しております。

本年度より委託業者が変更となった経緯でございますが、これまで公園等管理を受託していた業者から、今年に入り作業員の確保が難しく体制が整わないなどの理由により、入札案内を頂いても参加できない旨の申し出がございました。この申し出を受けまして、数社の町内事業者に管理委託を当たってみましたが、芝生管理は専門的知識が必要であり、更にパークゴルフ場は、フェアウェイやラフゾーンといった刈り方が異なる作業が伴い、専用の機械を用意しなければならないなど、初期投資が多額になり受託は困難であるとの回答をふまえて、町外の芝生管理を専門としている業者を選定し、入札を執行したところでございます。

作業内容については、業務内訳書がありまして、芝生の刈りこみ高さ、病虫害防除、除草剤散布といった何項目かの工種を設定し、施設ごとに回数を定め、それを基に作業を行ってもらうこととなっております。

今年度、委託業者が変わったことにより、これまでの作業内容と変更はありませんが、これまで業者が培ってきたノウハウがあるため、作業の進め方など、異なることもあろうかと思いますが、利用者が快適にプレーができるよう受託業者と常に打ち合わせを行いながら維持管理を進めてまいりたいと考えておりますので、御理解を願いたいと思います。

以上でございます。

○議長（富樫順悦） 金安議員。

○1番（金安英照） 今、町長のおっしゃられたことを理解させていただきました。特に、芝の刈りこみにつきましても、私も現場を見させていただいて驚いたんですが、1週間放っておきますと、雨降る、降らないもあるかと思うんですけど、大体グリーン場では4センチ伸びています。そしてラフのほうでは6センチから7センチの伸びが確認されております。

こうなりますと、プレーの最中に玉が飛んでいかないとか走っていかないとかいうよりもですね、足を引っかけて転倒されたりとかする、怪我のほうまで心配になってしまいます。ですので、毎週火曜日と金曜日

の週2回、業者さんに来ていただくことになってるというふうに伺っておりますので、そちらの周知の徹底等よろしくお願い申し上げます。

また芝の管理をさらに考察してまいりますと、水撒きの重要性にもつながるかと感じております。当ゴルフ場の水道の元がですね、団地と一緒になっていますので、3時間、ゴルフ場の水撒き充当していただいておりますが、なかなかその時間で全コース十分に行き届かないというところが現状でございます。町水道との切り離しなど、もしお考えがありましたら、御答弁のほどよろしくお願い致します。

○議長（富樫順悦） 金町長。

○町長（金秀行） 再質問にお答え申し上げたいと思います。

作業内容については、答弁したとおり、これまでと変わらないということでございます。議員からおっしゃったですね、非常に、1週間になると4センチくらい伸びるということで、年間フェアウェイで24回で、平均週1回ですが、その伸びる時期はその分だけ多くするというようなことで、内部でその所は業者と十分協議をしながら行ってるというところでございます。これまでやってくれた業者が本当に、やってくれれば一番良かったんですが、どうしても業者からの人員確保という部分の中で辞退という形になったものですから、町としては、昆布100年の森パークゴルフ場は町の中でも本当に多くの方に、町外からも利用されているところでございますし、このゴルフ場については今後きちっと維持管理をしながら進めてまいりたいという考え方がございますので、今、業者新しくなってですね、ちょっと慣れるまでは少し時間がかかるかもしれませんが、その辺の所長い目で見ながら、地域の方々と共に、管理の部分でよろしくお願いしたいなというふうに考えているところでございます。担当から、こういうような御意見あったという分も業者のほうに伝えて、頑張っていたきたいというふうに伝えたいと思います。

それと水の管理でございます。これは町水道を使っております。で、度々水をやっている中ではですね、町のほうの警戒ランプというか、昆布地区のその部分が鳴る時もあります。で、その方法としてですね、本年度、タイマーを設置するということを今考えてやるような形を今、担当のほうではしております。タイマーをある程度設置すれば、集中的に散水が、スプリンクラーがらか所ほどあるという部分もありますので、それぞれタイマーをつけながら、その中で集中的な水管理というものが行われるのではないかと考えております。それと、井戸を掘るというこ

とも実は内部のほうで検討いたしました。ただ、業者のほうの見積もりで、掘削10メートルで約350万円、10メートルです、あそこはそんなに深くはないと思いますが、非常に井戸代についてはかなりかかると。掘削する、それとポンプ、更には電気代、そういう関係の維持というのもかかりますので、あそこは実は蘭越町はプレー代をもらって行っている施設ではない、緑化協力金という形で行っておりますので、その辺の所は、今すぐに井戸を掘ってできるという形にはならないかなというふうに判断いたしまして、当面は町水道と、それとできれば、国道のほうから走ってくる水というのがあるんですね。その部分を今、内部で検討して、そこにその水を活用した部分の中で散水できないかということも、今検討しておりますので、その辺の所ができるようになればまた、維持管理をしている方々含めて協議をしてまいりたいと思っております。いずれにしても、大切な施設だと私も認識しておりますので、業者のほうにも十分連絡を取りながら進めてまいりますので、御理解を願いたいと思います。以上です。

○議長（富樫順悦） 金安議員。

○1番（金安英照） ありがとうございます。ぜひとも、御考察のほどよろしく願い申し上げます。健康増進はさることながらも今、プレーすること自体、安心安全、命の尊さや喜びにつながってきている今現状でございます。

町内外問わず多くの皆さんが球技をし、そして帰りは温泉に入って有意義な1日を過ごして帰路に戻るわけでございますから、どうぞ、諸処含めまして今後ともよろしく願い申し上げます、私の質問と代えさせていただきます。

○議長（富樫順悦） 金町長。

○町長（金秀行） 昆布100年の森パークゴルフ場、繰り返しますが、町内のパークゴルフ場は昆布の部分と総合運動公園のその今2か所という部分の中で運営をさせていただいてる部分でございます。その中でも、昆布については非常に多くの方が利用されてる、町外の方々が、町営温泉幽泉閣という分もありますので、非常に多く利用されてる、その分だけ非常に状態というのは維持管理が必要だなというのは理解しているところでございます。限られた予算の部分ですから、全て満足にはいか

ない分もありますが、当面、担当のほうでも水の管理、また、業者のほうとの打ち合わせ、その分の中で進めてまいりたいと考えております。

その中でもし何か、こういう所がとかですね、ありましたら、担当のほうでもお話をさせていただきまして、その分ができるかできないかは内部のほうで十分検討いたしますけれど、その中で良好な維持管理に努めてまいりたいというふうに考えております。それと併せて、今日、傍聴にも来ていらっしゃると思いますが、管理をされている方というのが非常に努力をしているというのは私も職員から聞いております。その中で状態を保つということはですね、非常にありがたいなと思っております。そこで非常にまだまだ不足している分があるかと思っておりますけれど、その辺の所は業者共々ですね、今後に向けて検討しながら進めてまいりたいというふうに考えておりますので、御理解を願いたいと思っております。

以上でございます。

○議長（富樫順悦） これをもって、金安議員の質問を終わります。

○議長（富樫順悦） ここで、昼食のため休憩をいたします。
再開は13時といたします。

○議長（富樫順悦） 再開いたします。
休憩前に引き続き、一般質問を行います。
2番田村議員、質問席へ着席願います。 「2番、田村議員」

○2番（田村陽子） 2番、田村です。新型コロナウイルス対策事業の公平性について町長にお伺いいたします。先月の補正予算での地方創生臨時交付金の事業については、次々と取り組まれており、町民にも喜ばれていると思います。しかしながら、その中で「地元の高校生への対象となる事業が漏れているのではないか」という町民の方の声を聞いております。弁当の提供は小中学生、図書カードは幼児から中学生までが対象で、ふるさとエール便についても町外に住む高校生や専門学生、大学生が対象となっており、地元に住んでいる高校生は対象となっておりません。

児童手当の支給対象にもならず、さらに支出がかさむようになる高校生への対象事業を、この先考えないことには、公平性が保てないと思いますが、追加されるお考えはないものかお伺いします。

○議長（富樫順悦） 金町長。

○町長（金秀行） 田村議員の「新型コロナウイルス対策費事業の公平性について」の御質問にお答えいたします。

地方創生臨時交付金の事業の中で、地元高校生への対象となる事業が漏れているのではないかと御指摘でございますが、5月15日の第3回蘭越町臨時会において、新型コロナウイルス感染症対策事業として、児童生徒及び学生等を対象とした事業を議員皆様の御理解を得て議決をさせていただいたところでございます。その中で、蘭越らぶちゃんふるさとエール便事業については、申請のあった町外在住の高校生を含む大学生等にマスクと町の特産品を送ったところでございます。この事業の趣旨は、外出自粛により帰省できない学生を励ますもので、町内在住の高校生を対象にしていなことを御理解願います。

図書カード配布事業についてですが、蘭越高校生には、教科書等の助成をしていること、町外の高校に進学している高校生については、それぞれの学校でコロナ対策が講じられていると考え、全ての高校生を対象外としております。休校時給食支援弁当提供事業についても、臨時休業中の実施に向け、短期間で、小樽や管外の高校生の状況把握は困難と判断し、高校生を対象外にした経緯があります。

なお、施設内安全確保対策事業では、蘭越高等学校にハンディ型A1サーマルカメラを無償貸与しており、先日、藤田校長が来庁され、お礼の御挨拶を頂いたところでございます。

さて、高校生への対象事業を追加される考えはありますかとの御質問でございますが、今後、休業要請や失業等による経済的な不安、臨時休業による学習の遅れなどが懸念されますので、関係者等からのお話を伺いながら、支援が必要な場合は、検討してまいりたいと考えております。

また、再び感染が拡大し、マスクや消毒用アルコール等、感染予防資材が不足する事態になれば、町内はもちろん、町外の学生や高校生にも、迅速に対応したいと考えております。

新型コロナウイルスへの対応は、長期化の様相を呈しておりまして、以前の様な生活を取り戻すには相当の時間を要すると考えておりますので、高校生や保護者からこんな支援をして欲しい、こんな物が必要などそのような声がありましたら、是非お知らせいただければと思います。

いずれにいたしましても、教育委員会と十分協議しながら、望まれる、そして理解される支援を内部で検討してまいりたいと考えておりますので御理解を願いたいと思います。以上です。

○議長（富樫順悦） 田村議員。

○2番（田村陽子） ふるさとエール便についての趣旨は、帰省できない学生に対応してということで、町内在住の高校生は対象から外れているというのはもちろん理解もしているんですが、町内に住んでる高校生でも、やっぱり外出は自粛はせざるをえない状況でしたよね。で、国からのこういう助成金に関して、住民全般が対象に基本、なっていると思うんですが、そういうふうな考え、観点から言えばですね、町外に住んでる方へのそういうふるさとエール便の対応はそれは良かったと思いますし、小中学生への図書カードなり弁当なりもとても大事だったとは思いますが、やはりその部分で町内にいる高校生、まして蘭越高校に行かれています方にはいろんな補助が、コロナとはまた別にそれまでの補助があるので差し当たり、そこまで、もしかして不満も出ていないかもしれないですけど、町外への、町に住んでいながら、町民で親もありながら町外の高校へ進学している方々、高校生への、やはりそういうものが無さすぎるような気がして、余計にこの度の図書カードなんかも、なんで高校生が外れているんだという所の声が上がってきていると思うんですよね。

住民全般に対応するというのが、やはりその基本じゃないかなと思います。で、今後、図書カードを追加する予定はないということなんですが、それに変わりますて提案したいと思いますのは、この内閣府から来てるもの、いろいろ活用事例を見てる中で、54ページに、地域で宿泊体験デビュー事業というものがあって、地方公共団体が地域の住民に対して、普段行かない地元の宿泊施設への宿泊費の一部を支援し、地域の食文化、体験プログラムなどを、実際に泊まった経験とか地域の魅力を発信、全国に発信してもらおうと、こういう、まあ例ですけど、例えばこういうことに活用してもいいよということで出てると思うので、高校生を、町のこういうこれからの観光業とかに絡めて、自分たちも町に住んでいるけれども行ったことのない、幽泉閣におそらく泊まったことのない人もいっぱいいると思うんですよね。子ども達自身が幽泉閣に泊まったりする、こういうことをしながら、自分たちが幽泉閣の良さなり、蘭越町の温泉の良さなりを知って、若い世代なりの発信をしてもらおうということをやっていく、こういうことを例えばやろうとすると、幽泉閣のマイナスの部分も、国からの助成金を町に落とせることになると思うんですよね。そういう部分での、図書カードやってくれということではありませんが、そういう意味での新しい観光業なり、まちづくりを考えてもらう上でのそういう事業を高校生たちにも担ってもらおうということ、ちょ

っと御提案したいんですけど、それに対して町長、いかがでしょうか。

○議長（富樫順悦） 金町長。

○町長（金秀行） 田村議員の御質問にお答えしたいと思います。

蘭越高校とか、町外の高校に通ってる方への支援という部分の中では、蘭越高校については、非常に地元の高校ということもあって、そこに行かれています方については、町として、存続をしていく分もあって手厚い保護をしているという分については、議員も理解をしていただいているところではないかと思っております。その中で、町外の高校に通っている、その高校生にももう少し手厚く支援をすべきだということと、今回のコロナ対策のいろんな国の支援を見たときにですね、今、感染予防に対して協力をしていただいた方への支援という部分と、それと経済対策という部分の支援、という部分の中がそれぞれ出てると思うんですね。そして、その中で地方自治体に交付されてる、交付金という部分が今、議員が例を示していただいた、そういう部分にも活用できるという部分でございます。今、議員から提案いただいた部分は、一つのアイデアとしては、私も地元の小中高も含めて、青少年の方々が地元をよく知って、そして発信できるというような部分を考えるとですね、これは素晴らしいアイデアの一つかなと考えているところでございます。ただ、この部分を、コロナ対策という部分の中で、子ども達の学習とかいろんな部分もありますので、それがどこまですぐ対応できるかという部分を内部で考えなければならぬというふうには思っております。今、議員がおっしゃった一つの例というのは、私は一つそういう方法もあるんだなというのは、今聞いて認識をしたところでございます。

子ども達がこれから、午前中に教育長も答弁しました、いろんな、休業になった部分の中で学習を取り戻すという部分の中でこれから行っていく部分もあるので、このいろんな支援も、今後も皆さんの声を聞きながら、私はできることを行っていきたいと考えているところでございます。いずれにいたしましても、内部でいろんな検討してまいりますけれど、議員がおっしゃったような、こういうアイデアもあるのではないかと、このものが、町民の皆さんをはじめ、そういう声がありましたらぜひ、担当のほうにも声をかけていただきながら、その中でできる部分から進めてまいりたいと考えておりますので、御理解を願いたいと思います。

○議長（富樫順悦） 田村議員。

○2番（田村陽子） まあ、保護者の気持ちからすると、一番簡単なのは図書カードをもう一度、予算が来た時に町内の高校生に対応してやるというのが、まずは一番最初に気持ちが、自分たちも、先ほど午前中の永井議員の件もありましたけど、自分たちを見てもらえる、見てもらってる、考えてくれているという部分にもやはりなると思うので、可能ならばその図書カードの追加というのは一つ検討していただきたいのと、先ほど提案した、観光絡めたり、高校生たちへの、若者たちへのまちづくりに参画する、18歳になれば選挙権も今ありますし、そういう意味でのこれからの人づくりとか、町を知るということを含めた新しい事業をこれから考えていただきたいとは思っています。最後にですけど、前回の補正の予算の時に、私自身も高校生が漏れていると、そこで気付けば良かったし、そこで言えば良かったんですけど、住民の方から声でようやく気付いたということは私もちょっと反省しておりますし、これからは少しその所も見ながら行かなきゃならないなということ、自分の身で思っております。最後、町長、一言お願いします。

○議長（富樫順悦） 金町長。

○町長（金秀行） 田村議員の御質問にお答えします。

非常に今後ですね、コロナが長期化していく部分からいうと、学習面の支援というのが、今、図書カードという分が一つの例ですが、いろんな形の中で、これが長期化になって休業になるというふうになれば、そういう学習面の支援というのは必要になってくるのではないかと考えております。それがどういう方法でやるのがいいのか、これは教育委員会等含めてですね、十分内部で検討していきたいなと思っております。

午前中にも出たオンラインの授業の関係、これも休業になればそういう形が進んでいかなければならないという分もあるそうです。

蘭越高校にちょっと聞いた部分からいくとですね、オンライン授業の中で、何か高校になると自己負担なんかも発生するというのを聞いております。そういうところを、学習という面からいって、町で支援とかそういうものできないかというのも一つの方法かなと思っておりますので、委員の提案していただいたことも、私も子ども達が自分の町を知るということは大変いいことだし、そこから発信してくれればありがたいと思っておりますので、何かそういうような声がありましたら、ぜひ町のほうにも教えていただいて、そして非常にやって良かったとそういう

喜ばれるような支援を内部で検討しながら進めてまいりたいと思っております。御理解を願いたいと思います。

○議長（富樫順悦） これをもって、田村議員の質問を終わります。

○議長（富樫順悦） 次に、9番柳谷議員、質問席へ着席願います。
9番、柳谷議員。

○9番（柳谷要） 私からは、三つの項目について質問させていただきます。まず最初でございます。町道管理維持事業の委託業務について伺います。町道の維持管理業務が民間委託となってから1年が経過しました。そこで次の諸点について伺います。

総じて委託の効果をどう捉えていますか。2、今後の課題についてお知らせください。3、日常の生活町道、道路状況を把握するために専任の「町道行程管理者」によって道路パトロールをしてはどうかと思いますが、いかがでしょうか。

この三つについて、町道について伺いたいと思います。

○議長（富樫順悦） 金町長。

○町長（金秀行） 柳谷議員の「町道管理維持事業の委託業務について」の御質問にお答えいたします。

1点目の委託の効果をどのように捉えているかとの御質問でございますが、昨年度においては、業務を引き継ぐという意味もありまして、職員を一人配置し、その職員の指導・指示の基に、年間の業務を実施いたしました経過でございます。業務によっては、予算の関係から職員のみが対応したケースもございましたが、排雪業務等を含めて、住民から大きな苦情はなかったと担当課より報告を受けておりますので、全体としては、これまでと変わりなく遂行できたのではないかと考えているところです。

本年4月からは完全に民間委託となったことから、業者が持っているノウハウを活かしながら道路維持管理の推進を期待しているところでございまして、委託の効果については、今後、十分、検証してまいりたいと考えておりますので、御理解願いたいと思います。

2点目の、今後の課題についての御質問ですが、本町は町道455本、河川166本と、管理延長等が多く、また、道路や道路付帯施設の老朽化が進んでおり、河川においても近年の異常気象による氾濫が懸念されて

いるところでございます。今後においては、町民の安全な道路の利用や安心して生活できるよう、より一層、維持管理が重要と認識しておりますが、管理施設が多いことから費用の増大も予想されております。

更に現在委託業者へ貸与している重機車両においても、故障等により作業に支障をきたすことから機械の更新を含め、町全体の道路等維持管理については計画性をもって進めてかなければならないと考えております。民間委託する中であって、行政の役割として、既存の道路の健全な状態を確保するため、適切な時期に必要な工事を実施することにより、道路維持作業において過大な作業量にならないよう負担を軽減するとともに、適切な維持費用の積算も勘案し進めることが、委託継続につながるものと考えております。今年度は完全な民間委託がスタートした大事な年であることから、業者と十分に協議を重ね進めるよう担当に指示しているところでございますので、御理解を願いたいと思います。

3点目の、専任の町道行程管理者による道路パトロールについてでございます。日頃から、路面や道路附帯施設の状況を把握し、適切に管理しておくことが、災害時の被害や事故等を最小限に抑えることができると考えておりました、そのような意味でパトロール業務は、道路維持の中でも重要と捉えております。委託設計の中には、日常的に実施する通常パトロール、さらには2週間に1度のペースで巡回することとなっております。また、災害時緊急時には通常のパトロールから切り替えて、防災時パトロールを行うこととして予算計上もしているところでございます。

道路の状況を把握するためには、現在の状況のみならず、過去の状況も含めて把握することが大事であることから、役場側から業者へ情報を提供するなど、今年度より建設課に新たに主幹、更には道路維持係を配置し、常に打合せを行いながら業務を進めているところでございます。

また、平成30年3月に町と蘭越町内の郵便局との間で、地域社会の安心・安全の確保を図ることを目的に、包括的連携による協定を締結しております、道路損傷等の情報についても提供されることとなっていることから、民間事業所の協力体制も構築されているところでございます。専任の道路パトロールをとの御提案でございますが、パトロールによる道路状況の把握から維持・補修までを一括して委託することが、効率的で良質な道路維持管理に繋がると考えていることから、道路パトロール業務についても委託費に計上し、当面は執り進めて参りたいと考えておりますので御理解願いたいと思います。以上でございます。

○議長（富樫順悦） 柳谷議員。

〇九番（柳谷要） 少し、住民目線で道路行政というのを私も捉えてみました。例えば、点検をどうするのかという場合ですね、標識等の表示、これがきちんとされているかどうか、表示点検、それから路面がきちんとしているかどうかですね、路面点検、それから路面の場合は例えばマンホールにつづる目皿が塞がっていないかどうか、それから路肩が健康な状態であるかどうかという、日常通りながら感じることでこれらの点検が必要かなと。また、直接目に触れないことで非常に重要で、私もこれ、力を入れて発言したいんですが、側溝の点検がかなりなおざりにされているのが現状だというふうに思っています。7、8年前だと思いますが、豊国富岡線の起点の部分、豊国橋から300メートルぐらい豊国の港方面に向かって左側に、鈴木和雄さんの住宅のほうに入っていく所の、あそこが起点なんです、富岡線という、あの入口の左側の路肩が崩れたんですね。で、夏、ひと夏、通行止めになりました。原因は、側溝の刈り取った、機械で刈り取った雑木やごみが谷側の側溝を塞いでいたということで、道路を水が走ったんですね。そして谷側の路肩から崩し始める、大きく陥没した、それに類した道路破壊が、集中豪雨の時に各所で見られるのが最近の道路災害の特徴ではないかというふうに思っています。

この、道路を作る時に、路面はもちろん2層であったり3層であったり、その凍上防止の砂利敷設など、嚴重に立派なものを作ります。そして側溝もトラフを入れます。で、そのトラフの両側に芝や灌木があったりした時に、今、自動草刈機で刈りますね。この草が入るんですよ、側溝に。

ほとんど道道であっても町道であっても、側溝の管理というのにはなおざりにされています。で、私は自分の耕作地の地先の側溝は道道であろうと町道であろうと全部刈上げしますけども、ほかの人はほとんど、なんでやるのという、あれなんですね。側溝が詰まるということは、地下水が上がるんですよ。水田は当然、思い切って低くないと、秋作業が、田んぼが乾かないという結果になります。これは目に見えない非常に大事なことで、雨のシーズンになったらせめて見て、予備知識を持つだけでも、私はパトロールの大きい仕事でないかというふうに思っております。

それから、住民目線はそうなんです、管理上どんな課題があるか、独断と偏見で設定してみたんですが、蘭越は水害との戦いの町政運営が長年続いてきました。昭和36年、37年の水害以降ですね、上里線やそれから各種の農免道路が標高80メートルラインに災害用の避難道路を兼ねて尻別川の両側に出来たというのが、私は蘭越の道路行政の一つの割拠を成すものではないかと思っています。標高80メートルというと、目名駅と同じ高さですね。水害と関係のない迂回路です。

それが時には林道であったり、農免道路であったりするんですね。農免道路は毎年作られましたけど、あれは舗装が3層なんですね、道道でも3層の道道というのはあまりないので、農道空港であったりというのを想定して3層にしたという話を聞いております。ですが、目皿が塞がっていると。それから側溝には灌木が生えているということになっていきます。これを全部きれいにしろとは言いませんが、注意力はそこに向けておく必要があると。

ここが溢れないようにすべきだとか、これは専門のパトロールの人がやっぱり頭に置いて管理者に、常に予備知識として蓄えておくという作業が大事なんではないかと。もう一つ、最後に申し上げたいのは、地域の地先の住民に共通の認識を持ってもらうということですね。かつて蘭越では、道路愛護組合というのが、砂利道をこまざらいで、自転車が通りやすいように直す、そういう習慣があったんですよね。道路愛護組合ってあったんですよ。で、これは今なくなってしまいましたけど、住民を巻き込んで道路状況を良くする、子どもの通学路を整備するじいちゃんがいちたんですよ、どこにも。それ、愛護組合が無償で、ボランティアでやるんですね。大変輝かしい歴史ですよ。自分の道路を自分で管理すると。

原因者負担の原則なんですけど、私は議員になってから覚えた言葉であって、皆、道路壊したら直す、そういう習慣がありました。

丸通のトラック、一番先に走りましたけど、道路を直しながら走っていました。私はそういう総合的なまちづくりのプランニングの一つとして、やっぱりパトロールの業務の重要性を訴えたいと思います。配置したい、するかどうかというのは、これは町長の判断だと思いますが、やはり管理不足で、災害で通行止めになるということのを避けるには、やはり日常の管理者としての道路事情を精通するというのが、委託任せにできない部分があるのではないかとこのように思っています。

で、委託になってから経過を教えてくださいという質問にすぐかどうかわかりませんが、やはり道路をいかに大事に使うかということで、補修・新設もちろん大事ですけど、維持管理が本当に大事だということを重ねて私は訴えたいと思いますので、町長の所見を伺いたいと思います。

○議長（富樫順悦） 金町長。

○町長（金秀行） 柳谷議員の御質問にお答えしたいと思います。

先ほど答弁もしましたけれど、今年度から完全に町道の維持管理を民間委託にしております。通常パトロール、更には災害パトロール、路面整

正、舗装補修というですね、17項目くらい定めた委託内容になっております。今、議員がおっしゃった側溝の清掃とかそういう部分の中にも、一つの部分から行くと、排水施設側溝工事とか、路面等の清掃とか、そういう部分は項目に入ってるんですが、議員おっしゃったとおり、全町それを全部委託でできるかと言うと、そこまで全部任せておくという、そういうふうにはなってないと私も感じたところでございます。

そのような中で、やはり道路をきちっと維持するということは大切な部分でありますので、その中で今回、建設課のほうに主幹なり道路維持係という係長も配置いたしましたので、委託で賄えない部分とか、日頃のそういう町民からの声、そういうものを担当課のほうできちっと押さえながら、そしてそこを委託以上に、業者のほうにもしやってもらうのであれば、そういう費用というのにもかかりますし、町のほうでまた違う業者に頼むとか、いろんな部分の方法もあると思いますので、今非常に、質問頂いた部分については大切なことだと認識しておりますので、内部のほうでも日頃の道路点検も含めてですね、業者と打合せ、そして町でも見廻りのパトロールとか、そういうものは空いてる時に行ったりだとか、いろんな、郵便局とも提携をしておりますので、いろんな方のお話を聞いたりとか、そういう中で悪い所は補修していく、そういうような体制を今一度内部できちっと確立させながら、進めてまいりたいと考えております。御理解を願いたいと思います。

○議長（富樫順悦） 柳谷議員。

○9番（柳谷要） もう一つ。路面、側溝、話したんですが、農免道路というのは、集落と集落、生産団地と生産団地をつなぐためのガソリン税の関係の予算で作った道路ですね。それで、非常に長距離で、周辺が山林であったりする、例えば私も日常的に利用するんですけど、名駒と共栄の境から清水に向けた農免道路あります、それから富岡の新見線行く道路、椿さんから新見線行く道路、貝川もそうなんですが、周辺の立木が非常に伸びて、秋になると落ち葉が落ちると。アカシアだとか、小さい葉っぱなものから、大体、木ではないけどイタドリが路肩に生えて被さってくると、危険な状態のものもある、目皿を塞ぐとか、いろんなそういう、ハードで処理しなきゃならない部分というのは結構あるんですね。

私は、利用頻度や重要性に応じて、全部できないのであれば重点的にやるという、そういう作業の振分けというのは大事ではないかと思っています。年次計画で、今年はこの路線だけと来年はあっちの路線とか

言って、路肩に被さっている立木を切るという作業をやってほしいと思うんですね。これ、作った以上、道路は管理しなければならないというのがあります。災害用の非常道路はもちろんですけどやっぱり町のグレードをそこで維持していくということが非常に大事なのではないかと。

町道は長いということはよく言われるんですけど、実は多額の交付金が算定の基準となってるという側面もあると思いますので、やはり道路を大事にしていくことに専念できる町になればいいなと思っています。

これは答弁、必要であればいただきたいですが。

○議長（富樫順悦） 金町長。

○町長（金秀行） 議員の再質問にお答えしたいと思います。

議員おっしゃった、農免農道、昔のですね、農免農道の関係、これ道営で行った事業というのが蘭越、けっこうあるんですね。それを、今は町道の方に移換されているという形で、町の、町道の路線名という形になっております。今、議員がおっしゃった、その中の維持管理の部分については、非常にパトロールの分も含めてですね、立木、そういうものの伐採とかそういうのに関しては、失対事業とかそういう分もありますので、循環した部分の中で必要であればそういう失対事業なんかも含めた中で整備していくことは可能ではないかと思っております。それと併せて、大規模な工事、そういうふうに、路面が富岡のあそこの所が陥没したというのは私も知っております。そういうような大規模な工事とならない前に、未然に防ぐ方法として、北海道のほうでですね、今、昔農免農道をやった事業について、道のほうでさらに整備をする、そういう計画を上げた場合に検討できるというそういう制度ができました。農村漁村地域整備交付金って、農地の整備事業の中に、昔の農免農道が整備できるというのが新たにできたんですね。今年の2月くらいに、実はその話を担当のほうにも言ってますので、計画なり現場を見て、実は名駒二期地区の農免農道、路肩というか、ちょっとひび割れなんかも入ってて、危険だなというのは私も認識してたので、そういう制度に乗ってできないかどうか担当のほうにも今、支持をしているところでございます。そうすると、道の事業の中で地元負担もありますが、そういう形でできるという方法もありますので、大規模な事業については、そういう形で行っていく、通常の維持管理については、全ていっぺんにはできませんが、そういう危ない箇所は重点的に失対事業なんかも併せながら実施してまいりたいというふうに考えておりますので、御理解願いたいと思います。以上です。

○議長（富樫順悦） 終わりますか。では、2項目の質問に移って下さい。

○9番（柳谷要） 国の定額給付金の拡大支給について、お尋ねします。国はすべての国民に一律10万円の給付金を支給開始しました。

基準日以降、4月28日以降に出生した乳児や、現在、妊娠され母子手帳をお持ちの保護者への給付を町独自の施策として実施できないか伺います。

○議長（富樫順悦） 金町長。

○町長（金秀行） 柳谷議員の「国の特別定額給付金の拡大支給について」の御質問にお答えいたします。

国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策によりまして、4月27日を基準日として全国全ての人々へ10万円を給付する、特別定額給付金制度が実施されております。本町でも、4月27日を基準日として、2,366世帯、4,638人に対し、5月11日から申請を受付け、現在まで2,322世帯、98.1%の方が申請を行い、随時、給付を行っている状況です。

さて、議員御指摘のとおり基準日以降、4月28日以降に出生した子どもについては、制度上、該当とはならないことになっております。

どのような制度もそうですが、一定の基準を定めなければならないことから、一日の違いで支給、不支給の差が出るものでございます。

しかしながら、緊急事態宣言中には、妊婦の方は、人一倍気を使われ、お腹の子と一緒にコロナと闘っていたと推測されるところであり、感染予防等の長期化が見込まれることから、配慮していく必要があるものと考えるところでございます。札幌市では、4月28日から政府の緊急事態宣言が続いた5月25日までに生まれた新生児に独自に同額を支給するとされました。また、その他の公共団体でも、4月28日から令和3年3月31日に誕生し、住民登録された子供に対して10万円を、臨時特別出産祝い金として提供する事業が行われるなどの取り組みがなされているところでもございます。本町では、4月28日以降、現在まで出生した子が4名、また、出生予定の母子手帳をお持ちの方が13名おります。事業の実施にあたり、制度の趣旨を鑑み、対象期間や名称及び交付金の対象になり得るものかも含め調整する必要がありますので、議員御提案の事業の実施につきましても、他の事業との優先度も含めて内部で十分、検討したいと考えておりますので、御理解願います。以上です。

○議長（富樫順悦） 柳谷議員。

○9番（柳谷要） 補償と給付はどう違うのかという、疑問があって、給付はまあ作業でございますが、補償というのは、事業があって、その原因者が自己負担でもって補償、補填するという趣旨だろうと思うんです。

私は伝染病、感染症も含めて、伝染病それから特定疾病そのほかについては、補償の対象になりうるという国の、広がることによって国の国力がそがれるという趣旨から国で多額の出費をする、そういうことになってるんだと。もちろん、生存する権利だとか、様々な憲法上のそういう規定もありますけれど、それはともかくとしても、法律上は伝染病を抑える、そういう人類課題の一つであって、今の我々の住んでる社会の到達点がそういう社会であるという捉え方ですね。ですから、国の責任で経済生活がおろそかになると困るので、生活費も給付するという、そういう制度になってると。では、生まれてない赤ちゃんはどうなるのかと。

私は母子手帳という表現をしたんですが、母親にすれば2人分のやっぱりリスクを背負ってるということがありますね。精神的な負担感というのはこれは相当なものだろうと思うんですね。想像するにあまりあるというふうに思います。お腹の赤ちゃんが動いてほっとすると語ってるお母さんもおりましたけど、毎日その連続というふうに言いますね。ですから、その気苦労に対して補償というのがあるのであれば、見舞いでもいいし、無事生まれてきた時に出産祝い金にする、そういう趣旨であってもいいというふうに思います。私どもは行政に身を置いている立場でございますけど、行政の一角に身を置いている立場ですけど、常に住民に対する気遣いをいろんな施策の中で活かしていくということを、今回はそういう時期なんでないかと思っております。

町長の気構えを一つ、もう一度伺いたいと思います。

○議長（富樫順悦） 金町長。

○町長（金秀行） 柳谷議員の御質問にお答えいたしたいと思っております。

今回、新型コロナウイルスの対策として、国が一人10万円を支給するという、特別定額給付金でございます。4月27日までに生まれた子供が対象ということで、先ほども答弁しましたけれど、それ以降の、以後の方は対象とならないという制度でございます。それを、今、私も調べた中では、朝日新聞の調べでは全国で約、それを30市町村くらいが拡大をして、そういうお祝い金、見舞金、そういうような形で支援をしていこ

うというような報道が出されているところでございます。昨日、旭川市もそこで出すということで、市長がコメントを出した報道がされました。

旭川の市長の話だと、これは2次の臨時交付金、それを活用してやるというお話もされておりました。非常にいろんな方々にいろんな手立てを、コロナ対策の部分の中では行ってやっていきたいという、私もそういう気持ちを持っております。ただし、全ての方々に平等に全部できるかと言うと、それはいろんな部分の中の制約があって、できない部分もあります。で、法的にそういう部分が問題ないとかそういう協力金とかそういう分も含めて、今、私、蘭越町では子供が生まれた時に一人3万円という分を支給しております。ですからそれに、一つの例としては、プラスアルファというかそういう部分の中で今回のコロナの対策の部分の中のお祝い金の一つとしてとしてそういうことも可能なかどうか、そういう分も実は内部の方で十分検討しながら進めていきたいというふうに考えておりますので、御理解願いたいと思います。

○議長（富樫順悦） 柳谷議員。

○9番（柳谷要） ちょっと町長、明言いただけないのが残念ですけど、全国で30町村、朝日新聞の報道ですけど、昨日一昨日は芽室町が12月31日まで出生の子どもということで。私は、発表するからには、報道するからにはそれなりの状況の、官庁に対する問い合わせや、政策的な最後の負担をどうするのかという問題も含めて、公平とバランスの感覚でもって判断されたんだろうと思っています。それともう一つ、政策的に言うと、これは3月の総括質疑の中で申し上げたんですけど、喜ばれる政策というのは、住民がもちろん支持するから喜んでくれるんでしょうけども、国も認めざるをえないという、そういう側面があると思うんですよね。やっぱりあると思うんですよね。世論だと思うんです。それはやりすぎだっていう声は、町長の裁量権だと思います。町長の裁量が生きてくるということだと。やりすぎかどうかというのは。従来の福祉施策や、今回みたいな補償は私、記憶ありませんけど、福祉施策は自治体が全部先に先行して進んだ施策をやる、で、国が後追的にそれを認めていくと。予算付けもしましようという、一連の流れがここ、4、50年の間の大きい流れですね。自治体は非常に大きな施策だとかその決定権だとか、政策的指導力を持ってる。それから中央の官庁も自治体の意見をよく聞くようになってると聞きますね。担当者が本当に、何か困ったことないですかとよく聞くと、そういう時代になってきてると。だから私

どもが作り上げた施策について、ぜひ国も財政措置してくださいと、特別交付税だと、色ついてるわけじゃないからくださいよというくらいの、私は政策的な指導力というのは地方がもう持っている時代だというふうに思いますよね。だからその辺、臆することなく勇気を持ってやっていただきたいと。町民は必ず支持するというふうに私は確信しておりますので、町長からもう1回答弁いただければと思います。

○議長（富樫順悦） 金町長。

○町長（金秀行） 柳谷委員の御質問にお答えしたいと思います。

今回の臨時交付金の活用によってですね、私は町村独自のその施策の部分の中で、そういうものが全て認められて、支援できるという体制がやっぱり一番本当は望まれることではないかというふうに思っております。地方自治体という独立の組織があって、その中で地域の事は地域でやっていく、そのための交付金の活用というのが望まれるのではないかと思っております。ただし、今の臨時交付金というのは、計画を上げて、国の中のほうで審査をして、その中で認めたものに対して使っているよという部分があるので、全部が全部、町長の政策としてできるかというのは、それは一般財源も活用してできなくはありませんが、そういう所に少し、本当は皆さんに喜ばれるいろんな制度を行いたいんですが、限りある財源もあるし、公平性といういろんな人方がたに同じような部分の中でやってあげたいなという考え方をしております。

この議員からの御質問頂いた時に、私もいろんな町村、いろんな所調べた中では、やはりそこでやってる、国の制度も活用しながらできるといようなこともありますので、その辺の所はもう少し、私どもも内部できちっと調べた部分の中でこういうことで行けるとい分があれば、十分検討したいということで答弁をさせていただいた経緯にあります。

いずれにしても、コロナ対策についてはいろんな部分でこれから、議員の皆さん含め協議をさせていただくことが多いと思います。

町民の方々はこの感染という部分の中で長く付き合っていく、そのための必要な支援というものを、町としてできる限り支援をしたいという気持ちはございますので、その中でいろんな制度的なものを見ながら検討していきたいということで、御理解願いたいと思います。以上です。

○議長（富樫順悦） よろしいですか。では、次の質問に移って下さい。

○9番（柳谷要） 三つ目の質問です。コロナ対策とそれ以後の町の財政

運営について。新年度始まって以来、各種のコロナ対策によって大小の行事はほとんど中止、延期となりました。少なくとも執行不可能であったり、不可能の可能性のある予算について、機敏な対応で減額補正や流用するなどの効率的な執行が望まれます。また、本町議会でも、国は新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策など、増大する地方財政需要に対応し得るよう、地方一般財源総額の確保を求める意見書を表明することとしております。今後の町長の町財政運営の基本と国の地方への財政施策の姿勢についてどのような見解をお持ちか、伺いたいと思います。

○議長（富樫順悦） 金町長。

○町長（金秀行） 柳谷議員の「コロナ対策とそれ以後の町の財政運営について」の御質問にお答えします。

新型コロナウイルスの影響による行事の中止等については、先般5月15日に開催いただきました第3回臨時議会において配布いたしました事業中止等一覧のとおり、多くの事業が中止となっております。

大きなイベントとして、せせらぎまつり、ラリー支援、イングリッシュキャンプインらんこし等を中止しております。イベント以外にも、各種会議については書面会議による開催、更には毎年町職員を対象に実施しております先進地視察研修も取り止めるなど、一覧の中には記載されていない事業にも多く影響が出ている状況となっております。

また、例年開催されている事業で、事業を実施すべきか検討している事業もまだあるというふうに伺っております。

イベント等の中止による歳出の減額に限らず、休業による温泉施設等観光施設の使用料等、歳入にも影響が出るものもあり、予算補正につきましては、ある程度全体的に把握できた時点で補正し、余剰等があれば、コロナ対策の予算に使用するなど、効率的に執行させていただきたいと考えておりますので、御理解願います。

次に、今後の私の町財政運営の基本と国の地方への財政施策の姿勢についてでございますが、私は、今回のようなコロナ感染症等、前例のない状況下においては、柔軟かつ迅速に、必要な所に効率的に財源を入れ、住民生活や経済活動の維持を図ってまいりたいと考えております。

一方で、通常の行政運営もしっかり推進すべく、限られた財源を最大限に活かし、「第6次蘭越町総合計画」に掲げた施策の推進を着実に具現化するため、継続的な財政需要を勘案しつつ、優先順位の高い事業から、効果的・効率的に取組み、様々な分野において行政サービス向上に努め

ながら、健全な行財政運営を推進してまいりたいと考えております。

また、国の地方への財政施策の姿勢ですが、社会経済情勢の急激な変化や今後における国の地方財政対策などの動向が不透明な状況にあって、歳入の的確な予算を立てることは極めて困難な状況にあります。

今後、新たに必要となる地方負担や地方が独自に実施する取り組みについても、地方公共団体の財政運営に支障が生じることのないよう、地方交付税等の一般財源の確保を図ると共に、先般、北海道町村会において特別決議された、まちづくりが円滑に進められるよう必要な財政支援を講ずることなど、今後も関係機関一丸となって、国等へ要望をしてまいりたいと考えているところでございます。

また、統合診療所建設には環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業補助金を活用しておりますが、環境対策に限らず国では、防災対策、デジタル経済への対応、道路・橋りょう整備及び地域交通等、それぞれ推進する事業を補助金として制度化しておりますので、国の動向を常に注視し、本町が実施する事業と要件が揃う場合には、積極的に取り組み、確実に財源を確保していきたいと考えておりますので御理解願いたいと思います。以上でございます。

○議長（富樫順悦） 柳谷議員。

○9番（柳谷要） 役目柄ですね、監査業務をしておりますと、こういうことわざを度々思い出すんですね。名誉の赤字、住民にとって名誉の赤字、不名誉の黒字っていう。はたしてこれはそれになるんだろうかという、ここ4、5年、年度末の経理は蘭越は極めてとは言わないけど、順調な推移をしております。今年度どうなるかというのは予測はつかないんですけど、多分、事業中止した分は効率的に使わないと、後どうなるかわからないから、慎重な財政運営が必要なんだろうということでこの発言なんですけど、やはり私も何年間か議員生活をやらせていただいて、時期外れに使わなかった予算が減額補正で出てきたりするのを度々出くわしていることがあるわけですね。12月過ぎの補正予算で減額するというのは、3月までに有効に使えるというのが、3月までに3か月4か月しかないということであっても、減額補正すればそれは有効に使えるということですね。不名誉の黒字というのは何をいうかということ、不用額で出す、不用額で出して、必要な予算措置が十分でない場合、やっぱり不名誉な黒字になるんでないかというふうに、こう思うんですよね。

その場合、次の年の補正予算で使えるからとか、基金に積むからいい

のではないかという理屈になるかも分からないけど、単年度としては、会計年度、単年度の原則から言っても、非常に精度の低い予算運営になるという側面があると思うんです。ですから、今年は上半期の行事はほとんど中止、お金のかかる行事はほとんど中止、延期ということになってますね、形を変えたり。だから、これを全部精査すると。そして9月の議会には予測でつくものは可能な限り減額補正をします。そして新たなコロナ予算を組むという作業がやっぱり機敏にされるということが大事ではないかなと。1,000万単位でおそらくお金出てくるでしょう、そういうことを予測するからこそ、こういう提案をするんですが、このことについて町長に一言。それからもう一つ、国税5税の55%、私の記憶では確か55%は都道府県が交付税として、交付金ではないです、交付税として国から法律に基づいて支給を受けるという制度になってますね、都道府県が。それで今回、コロナ対策のメインの役者と言ったら失礼ですけど、東京都知事の小池さんが非常にリーダーシップを発揮したというのは、国が、大臣が直接指揮をとらないのは何故かという側面を考えてみた時に、私は国が直接取ると、例えばマイナンバー制度にしてもそうですし、プライバシーの侵害の恐れがある、そういうやっぱり含まれたものを国が折あれば、っていう、そういうチャンスを伺うという不信感があるということで、これは今の憲法で、都道府県がイニシアチブを握って事を進めるとするのはおそらく、まあオリンピックもそうなんでしょうけど、私の記憶ではびっくりするくらい今回初めてだという記憶があるんでしょうけど、なぜか、これはやはり食料と教育と、消防と警察の業務というのは全部、専属は国直轄だったんですね。これを都道府県に移換することによって、住民が主人公になると。都道府県と、町村と連絡取ってですね。感染症対策もそれが行なわれたということですね。

だから知事の権限は非常に大きいと。私はそういうふうに理解しているんですね。不勉強でこのぐらいしかしゃべれませんが、時代は明らかに変わってると思うんですね。もう100年単位で変わってる。

そこで、一般財源の確保を、自治体の都道府県も含めて5団体が総額確保をいち早く言った、関連だったり組合もそうですけど、議会でも今回、決議しようということなんです。だから、ほかに予算は取られるんだけど、組換えしてでも地方財源は確保してくれというのが、我々の声だということですね。やはり町長、率先して、町村長の団体があるわけですから、やっていただければと。私もそういうことで、意見書の決議については賛成して支持したいと思っております。そういう時代に我々は住んでるというふうに思って、確信をもって今日の議会を、この発言を迎えた

と思いますので、町長から一言。

○議長（富樫順悦） 金町長。

○町長（金秀行） 柳谷議員の御質問にお答えします。

前段、御質問のあった、今、今年度の予算を措置した部分の中で、コロナ対策によって中止になった、そういうような事業についていち早くそれを精査して、それを新しい対策として9月議会の時にはそれを行うべきだということの御質問だったと思います。これについては今、4月5月段階です、中止になる、今後も中止になったという事業がありますから、それは見直しをかけて、その中で新たな対策という部分の中で措置できるものについては行っていきたいというふうに考えております。

それと併せて、国のいろんな制度的な部分が来ておりますので、その事業に乗っていきける、そういうものがその都度その都度出てきますので、それは9月末まで待たなくても、必要であれば私は臨時会も開いた部分の中で、予算等も含めて検討をお願いしたいというふうに考えているところでございます。ただし、今回の国のいろんな制度は、今日私も行政報告で申し上げましたが、企業、そういう方々を非常に支援するという制度なんです。自治体が事業自体っていう、その事業やっている部分に対して充当できるかっていう事業ではないんですね、国の支援というのは。今回のいろんな制度の部分からいくとその分がないんです。

例えば、町営でやってる温泉事業、更には道の駅、そういうものに関して第3セクターとか、民間に委託してやってる、そういう部分は今、国の制度的なものは当たりますが、直営がやってるという分は今はないんです。ですから私はそれを特別交付税で、きちっと雇用対策含めて措置をして欲しいという部分を、昨日も振興局通して、訴えました。更には北海道の経済産業省のほうにも実はその旨お話をさせていただいて、全国にある経済産業省の局長会議というのがあって、その中でもそういう、国、町でどうしても事業を主体としてやらなかったらならない、そういう部分の事業に何か支援というかそういうものも考えて欲しいということも訴えたところでございます。

いずれにいたしましても、非常に限られた財源を非常に有効に使っていかなかったらならない。このコロナ対策っていう部分を緊急的に措置をしなかったらならない。そのような時には、今ある基金も崩して早急にやらなかったらならないという、そういう判断もしなかったらならないかなと考えているところでございます。そのような場合には早急に議

員の方々にも相談して、なるべく迅速にいろいろな事業を対応をしていきたいと考えております。ただ、それが全部、言われている部分ができるかと言うと、なかなか限られた財源もあるので、国の支援等も活用しながら、まずは私は、健全な財政というものを保っていく、そして国がすべきことは国のほうに要請をしていきながら、町財政というものを保っていきたいと考えておりますので、御理解を願いたいと思います。

○議長（富樫順悦） 柳谷議員。

○9番（柳谷要） 最後。町長から幽泉閣の話出ましたので、私もかねがね思っておりましたので、一言だけ付け加えたいと思います。直営事業で公営企業やってるというのは、管内ではあまりないんですね。で、これはそういう声もありましたけど、前の町長はなぜ直営を続けたかと。第3セクターが次から次と破綻していった時期というのがあるんですね。

良質の資源を使って良質の住民サービスを安定して供給するということでは、直営で経営に危機が訪れた時は職員を派遣して、そして給与の面で下支えをしながら支えていくという、町の責任を明確にした、そういう事業だったんですね。だから各地で小さいの大きい、北海道では苫小牧東部の開発も工業団地の開発も第3セクター、石狩湾もそうですし、関西空港もそうですよね。これ、全部破綻してるんですね。だからそういうのを見て、町の姿勢を明確に表してきたということなんで、交付金、特別交付税の支給っていうことで、交付っていうことで、町長ぜひ、口から泡を飛ばしても説得してもらえようと、頑張ってもらいたいと思いますので、一言だけ。

○議長（富樫順悦） 金町長。

○町長（金秀行） 議員の御質問にお答えします。

町営にしたという経過の部分は私も十分認識してるところでございますし、やっぱり地元での雇用、更には地元からのいろいろな物資の購入、そういう部分も含めて町の中で一つの事業が展開できる、これが町が主導した部分でやっているということは、今の幽泉閣、雪秩父等含めて、今、町民の皆さんの理解を頂きながらこれまで推移してきているところで、私もこの部分については理解しております。そのような中で今回、雇用対策、そういう部分もきちっとした部分の中で支援していかなかったらならないという部分です。今の中で行くと、町税を使いながらそう

いう分の中で補填していかなかったらならないという、そういう現状にあります。それは町民の大切な財産、施設を町民で守っていくと、そういう使命の中から私は議会の理解を頂いて、きっと今年はこのままいくと収入と言うかその分はかなり低くなってくるので、赤字という部分も考えられる、そうすると、一般会計からの繰入とかですね、基金をおろしたりとか、そういう形で乗り切っていかなかったらならないのではないかと考えております。ただし、町民の施設、町民の皆さんのための幽泉閣、雪秩父だっという認識の部分の中で財源を、ぜひとも私は今、ないという中で、特交の中でいろんな、本当はルール分で制度化してくれということは今、訴えています、その分でなければ特殊財政事情、そういう部分の中でいいから、少しでもいいから、財源確保していただきたいということを、いろんな所を使いながら、これからも声を高くしてまいりたいと考えておりますので、また、議員の皆さん方もいろんな所でそういう応援をしていただければ大変ありがたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます、私からの答弁にさせていただきますと思います。

○議長（富樫順悦） これをもって、柳谷議員の質問を終わります。
これにて、一般質問を終了いたします。

○議長（富樫順悦） ここで15分間、休憩をいたします。
再開は14時25分といたします。

○議長（富樫順悦） 再開いたします。
日程第6、諮問第1号人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについてを議題といたします。提案理由の説明を求めます。金町長。

○町長（金秀行） ただ今上程されました、諮問第1号人権擁護委員の推薦につき、意見を求めることについて御説明を申し上げます。

先般、札幌法務局長から、蘭越町に置かれている人権擁護委員の田澤豊彦氏が令和2年9月30日付で任期満了となることにより、後任者の推薦依頼がありましたので、候補者として再任することとして推薦いたしたく、町議会の意見を求めるものでございます。

田澤豊彦氏におかれましては、住所が蘭越町573番地2、昭和27年3月17日生まれの68歳であります。現在、玉峰寺の住職を務められる傍ら、書道教室の開設や町内会長を永年努められ、人格識見が高く、広く社会の実情にも精通しており、信望も厚く温かな方です。

平成29年10月1日人権擁護委員に就任以来、積極的に人権擁護活動を行っていただいております。今後も更なる活躍が期待されることから、再推薦をお願いするものでございます。

よろしく御審議をお願いいたします。

○議長（富樫順悦） これをもって提案理由の説明を終わります。

これより、質疑に入ります。 質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終了いたします。

これより、諮問第1号人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについてを採決いたします。

お諮りいたします。

本件は、原案に同意し、適任と認めることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。

よって、諮問第1号は原案に同意し、議会の意見は適任と認めることに決定しました。

○議長（富樫順悦） 日程第7、同意第1号蘭越町監査委員の選任につき同意を求めることについてを議題といたします。

暫時休憩いたします。 坪田代表監査委員は退席願います。

○議長（富樫順悦） 再開いたします。

提案理由の説明を求めます。金町長。

○町長（金秀行） ただ今上程されました、蘭越町監査委員の選任につき同意を求めることについて、御説明を申し上げます。

選任の同意を求める監査委員につきましては蘭越町23番地、坪田 和昭氏で、昭和17年6月11日生まれの78歳であります。

坪田さんは平成16年8月28日より監査委員を務められており、人格が高潔であり、地域で信望も厚く、識見を有しております。適任でありますので、再度、蘭越町監査委員として議会の同意をお願いするものでございます。よろしく御審議をお願いいたします。

○議長（富樫順悦） これをもって提案理由の説明を終わります。

これより、質疑に入ります。 質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終了いたします。

これより、同意第1号蘭越町監査委員の選任につき同意を求めることについてを採決いたします。

お諮りいたします。

本件はこれに同意することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なし」と認めます。

よって、同意第1号はこれに同意することに決定いたしました。

○議長（富樫順悦） 暫時休憩いたします。

○議長（富樫順悦） 再開いたします。

日程第8、同意第2号から同意第16号まで、蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについてを一括議題といたします。

提案理由の説明を求めます。金町長。

○町長（金秀行） ただ今一括上程されました、同意第2号から同意第16号蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて、御説明をいたします。

農業委員会等に関する法律により、7月19日任期満了となります蘭越町農業委員会委員の選出方法は町長による任命制であり、本年3月2日から同月31日までの期間において農業委員の募集を行いました。

募集人数15人に対して、推薦を受けた者14人、個人による応募1人で定数と同数でしたが、町長は推薦又は応募に応じた委員の任命に当たり関係者からの意見の聴取、その他の任命過程の公平性及び透明性を確保するために必要な措置を講じるよう努めなければならないとされ、農業委員候補者については、農業委員会委員評価委員会を設置し、評価委員から候補者の評価に関する意見を求めることと規定されております。これにより、5月8日に蘭越町農業委員候補者評価委員会が開催され、農業に関して識見を有すると認める者を含めた5名の委員により委員候補者の評価が行われまして、同日、農業委員会委員候補者評価委員会の下條委員長から、候補者の活動履歴、農業経営の概要、経歴等を審査したところ、応募のあった委員候補者は要件を満たしており、委

員として適任との報告を受けたところであります。

このことから、応募のありました候補者を蘭越町農業委員会委員として任命いたしたく、議会の同意を求めるものでございます。

参考資料①を御覧願います。

同意第2号は、蘭越町字吉国71番地5、金子辰四郎氏で、昭和34年8月12日生まれの60歳であります。主な経歴等は、ようてい農業協同組合理事を10年務められており、ようてい農業協同組合からの推薦であります。

同意第3号は、蘭越町字共栄82番地、中井悟氏で、昭和32年3月15日生まれの63歳であります。主な経歴等は、農業委員を23年8か月務められており、共栄農事組合からの推薦であります。

同意第4号は、蘭越町字淀川207番地、坂野幸夫氏で、昭和41年10月4日生まれの53歳です。主な経歴等は、農業委員を2年8か月務められており、地域の農業者からの推薦であります。

同意第5号は、蘭越町字吉国798番地11、高山重人氏で、昭和31年12月6日生まれの63歳であります。主な経歴等は、農業委員を8年8か月務められており、上里地区農事組合からの推薦であります。

同意第6号は、蘭越町字淀川65番地1、岩間勇市氏で、昭和24年7月17日生まれの70歳であります。主な経歴等は、農業委員を20年8か月務められており、名駒地域農事組合からの推薦であります。

同意第7号は、蘭越町字清水28番地13、吉田靖志氏で、昭和54年7月24日生まれの40歳であります。主な経歴等は、農業委員を2年8か月務められており、名駒地域農事組合からの推薦であります。

同意第8号は、蘭越町字豊国51番地1、坂井明治氏で、昭和43年5月12日生まれの51歳であります。主な経歴等は、全道直播協議会副会長を務められており、蘭越上農事組合、豊国上農事組合、豊国下農事組合からの推薦であります。

同意第9号は、蘭越町字吉国1074番地8、宮武正人氏で、昭和50年11月1日生まれの44歳であります。主な経歴等は、後志地区農協青年部協議会会長を務められており、吉国地区町内会、三和1地区農事組合からの推薦であります。

同意第10号は、蘭越町字相生33番地31、西元道啓氏で、昭和40年3月15日生まれの55歳であります。主な経歴等は、農業委員を14年8ヶ月務められており、目名地区資源保全隊からの推薦であります。

同意第11号は、蘭越町字田下76番地、安田伸二氏で、昭和42年5月15日生まれの52歳であります。主な経歴等は、農業委員を8年8か

月務められており、目名地区資源保全隊からの推薦であります。

同意第12号は、蘭越町字大谷414番地、黒川利光氏で、昭和34年2月8日生まれの61歳であります。主な経歴等は、蘭越土地改良区理事を務められており、蘭越土地改良区からの推薦であります。

同意第13号は、蘭越町字初田302番地、伊藤忠幸氏で、昭和38年3月28日生まれの57歳であります。主な経歴等は、農業委員を2年8ヶ月務められており、初田地区農事組合からの推薦であります。

同意第14号は、蘭越町字富岡277番地2、石井妙司氏で、昭和35年9月28日生まれの59歳であります。主な経歴等は、蘭越土地改良区理事を務められており、富岡農事組合からの推薦であります。

同意第15号は、蘭越町字黄金14番地14、近藤一祝氏で、昭和27年1月19日生まれの68歳であります。主な経歴等は農業委員を11年8か月務められており、昆布地区農事協議会からの推薦であります。

同意第16号は、蘭越町蘭越町269番地5、杉本峯一氏で、昭和29年1月8日生まれの66歳であります。主な経歴等は、農業委員を2年8か月務められており、本人からの応募によるものです。

以上、応募のあった候補者を蘭越町農業委員会委員として任命いたしたく、議会の同意を求めるものでございます。

よろしく御審議をお願いいたします。

○議長（富樫順悦） これをもって提案理由の説明を終わります。

これより、質疑に入ります。

質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終了いたします。

これより、同意第2号蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについてを採決いたします。

お諮りいたします。本件はこれに同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。

よって、同意第2号はこれに同意することに決定いたしました。

○議長（富樫順悦） 次に、同意第3号蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについてを採決いたします。

お諮りいたします。本件はこれに同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。

よって、同意第3号はこれに同意することに決定いたしました。

○議長（富樫順悦） 次に、同意第4号蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについてを採決いたします。

お諮りいたします。本件はこれに同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。

よって、同意第4号はこれに同意することに決定いたしました。

○議長（富樫順悦） 次に、同意第5号蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについてを採決いたします。

お諮りいたします。本件はこれに同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。

よって、同意第5号はこれに同意することに決定いたしました。

○議長（富樫順悦） 次に、同意第6号蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについてを採決いたします。

お諮りいたします。本件はこれに同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。

よって、同意第6号はこれに同意することに決定いたしました。

○議長（富樫順悦） 次に、同意第7号蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについてを採決いたします。

お諮りいたします。本件はこれに同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。

よって、同意第7号はこれに同意することに決定いたしました。

○議長（富樫順悦） 次に、同意第8号蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについてを採決いたします。

お諮りいたします。本件はこれに同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。

よって、同意第8号はこれに同意することに決定いたしました。

○議長（富樫順悦） 次に、同意第9号蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについてを採決いたします。

お諮りいたします。本件はこれに同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。

よって、同意第9号はこれに同意することに決定いたしました。

○議長（富樫順悦） 次に、同意第10号蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについてを採決いたします。

お諮りいたします。本件はこれに同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。

よって、同意第10号はこれに同意することに決定いたしました。

○議長（富樫順悦） 次に、同意第11号蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについてを採決いたします。

お諮りいたします。本件はこれに同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。

よって、同意第11号はこれに同意することに決定いたしました。

○議長（富樫順悦） 次に、同意第12号蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについてを採決いたします。

お諮りいたします。本件はこれに同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。

よって、同意第12号はこれに同意することに決定いたしました。

○議長（富樫順悦） 次に、同意第13号蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについてを採決いたします。

お諮りいたします。本件はこれに同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。

よって、同意第13号はこれに同意することに決定いたしました。

○議長（富樫順悦） 次に、同意第14号蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについてを採決いたします。

お諮りいたします。本件はこれに同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。

よって、同意第14号はこれに同意することに決定いたしました。

○議長（富樫順悦） 次に、同意第15号蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについてを採決いたします。

お諮りいたします。本件はこれに同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。

よって、同意第15号はこれに同意することに決定いたしました。

○議長（富樫順悦） 次に、同意第16号蘭越町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについてを採決いたします。

お諮りいたします。本件はこれに同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。

よって、同意第16号はこれに同意することに決定いたしました。

○議長（富樫順悦） 日程第9、議案第1号示談の締結についてを議題といたします。提案理由の説明を求めます。 「小林総務課長」

○総務課長（小林俊也） ただ今上程されました、議案第1号施設内事故に係る示談の締結について、御説明いたします。

事故発生日時につきましては、令和2年5月1日午前11時45分頃でございます。また、場所は蘭越町目名町391番地、高齢者生活福祉センターめなの脱衣所洗面台の前になります。

事故の概要ですが、町職員が安全対策を怠り、床点検口を開けたまま、設備点検を行っていたため、デイサービス利用者の相手方が点検口に落下し、頭部と右足脛に打撲を負わせたものでございます。

示談の内容ですが、治療に要した費用その他相手方の損害賠償金として3万5,570円を支払うものです。

なお、示談の相手方は磯谷郡蘭越町字三和427番地、菅野君子氏です。地方自治法第96条第1項第13号の規定により、示談の締結について議会の議決をお願いするものです。

以上で説明を終わります。よろしく御審議をお願いいたします。

○議長（富樫順悦） これをもって提案理由の説明を終わります。

これより、質疑に入ります。

質疑ありませんか。 「3番、永井議員」

○3番（永井浩） 補正をみると、これ、損害賠償補償金で歳入が雑入であります。それが3万6,000円。支払った金額も大体3万6,000円ぐらいなんですけど、結局蘭越町はプラスマイナスゼロなんです。

これ、痛い思いした人にやっぱり謝罪というのは、プラスマイナスゼロでもある、あと、言葉でも。やっぱり過失があったら、それは慰謝料払えというんじゃなくて、やっぱり謝る、怪我させちゃったら、はい治療費ですよって終わっていいものかなってちょっと疑問に思ったものですから、その辺の規定が決まっているのか、損害が、物損なら物損、怪我したら怪我の治療のみの支払い、それも保険の適用内という規約があるのかどうかお伺いします。

○議長（富樫順悦） 小林総務課長。

○総務課長（小林俊也） 損害賠償の支払い金の内訳のほう、ちょっと説明させていただきたいんですけど、医療費、薬代、これが2万600円ほどかかっております。で、通院の交通費の分も出しております。

あと、損害賠償金としてですね、保険のほうからおりるんですけど、1日あたり大体4,200円、まあ多い少ないというのはあるんですけど、一定の規定ということで、この分で損害賠償金ということで出しているということで御理解をお願いしたいと思います。

本人のほうには、事故起こったすぐですね、家族も含めて、謝罪等、丁寧にしておりますので、御理解のほうお願いしたいと思います。

以上です。

○議長（富樫順悦） 金町長。

○町長（金秀行） 若干、補足させていただきます。

今回、この町の施設において、非常にこういう重大な事故を起こしたということに対して、まずもって議員の皆様方にもお詫びを申し上げたいと思っております。5月1日11時45分頃ですね、この菅野さんが、目名の高齢者センターにおいて非常に、点検口から落ちたということで、すぐ私のほうにも連絡が入りました。そして、頭部、その部分も打っているというようなこともあったので、すぐドクターヘリを出動させて札幌の溪仁会のほうに運ばれた経緯があります。私もすぐ札幌のほうに、担当職員が先に行きましたが、私もその後すぐ札幌の溪仁会のほうに行きました。幸いにして、すぐ溪仁会のほうで全身のCT含めて検査したところ、被非常に高齢な方なのですが、なんともなかった、本当の打撲という程度でございました。私も溪仁会に行って、菅野さん、お母さんに会ってですね、本当に大丈夫かどうかということも私の目で確認をし、本人も大丈夫大丈夫、ちょっと痛い痛いというふうに言っていただきましたが、本当に大変な、もし一歩間違ったら大きな事故につながるということも考え、私としても深く謝罪を申し上げたところでございます。

その次の日から何日間か、担当職員のほうで自宅のほうに行って、状況のほうも確認し、ちょうど田植え時期という分もありましたので、それによってはおばあちゃんを、町の職員のほうで病院のほうに連れていく、そういうようなこともするという話もしたり、再度、倶知安にあるニセコ脳神経外科のほうで再度受診もして診てもらい、というようなことを繰り返してきた経緯にございます。そのような中で、これまでなんとか最小限の打撲という部分の中で済んだということで、今回かかった治療費等も含めて、今、総務課長のほうからお話あったとおりですね、示談を成立させていただくというふうなことで議案を提案させていただいた経過にあります。今後におきましては、非常に施設内、その分含めてですね、先般も職員の賞罰委員会等開催して、きちっと対応する、そういう処分も含めて判断をいたしたところでございますけど、全体の私が責任者でありますので、私としても、非常に町民の皆さんに御迷惑をかけたということは今後あってはならないということで、今後含めて職員のほうにきちっと安全確認を行うよう、指示をいたしております。

いろんな保険適用とかそういう分はありますけど、町独自のそういう災害が起きた時の、死亡とかそうなった場合はある程度金額というものは、条例上はありますけど、軽度な部分については保険の適用、そのお見舞金も含めた部分の中の適用の中で今回、予算をつけさせていただいたという経過にございますので、御理解を願いたいと思います。以上です。

○議長（富樫順悦） 永井議員。

○3番（永井浩） 事故は事故で、その後の町長や職員の対応が良かったということで、向こうの相手方も謝罪を受けたということで金額的にはある程度の治療費だけで済んだということで、これやっぱり、事故を起こさない、安全管理というのはもちろん大事なんですけど、相手悪かったら大変な事になって、いまだにすったもんだやらなきやならなくなると思いますので、このようなことが無いようにしてもらいたいと思います。終わります。

○議長（富樫順悦） 答弁いいですか。

○3番（永井浩） いいです。

○議長（富樫順悦） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終了いたします。

これより、討論を行います。討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論なしと認めます。

これをもって討論を終了いたします。

これより、議案第1号示談の締結についてを採決いたします。

お諮りいたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。

よって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

○議長（富樫順悦） 日程第10、議案第2号蘭越町手数料条例の一部を改正する条例を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。北川住民福祉課長。

○住民福祉課長（北川淳一） ただ今上程されました、議案第2号蘭越町手数料条例の一部を改正する条例について、御説明申し上げます。

表紙をめくって、提案理由の箇所を御覧ください。

このたびの改正は、国から交付されるマイナンバーの通知カードが、法律の改正により、本年5月25日をもって廃止されたことから、これまで、本町で行ってきまして通知カードの再交付の手続が不要となったことにより、その手数料規定を削除するものであります。

では、参考資料②を御覧ください。

アンダーラインが改正箇所です。

別表第1の「9の項」を削り、「10の項」を「9の項」とし、「11の項」から「24の項」までを1項ずつ繰り上げます。

2ページを御覧ください。附則におきまして、この改正条例の施行は公布の日とし、本年5月25日に遡って適用いたします。

以上で説明を終わります。

よろしく御審議いただきますよう、お願い申し上げます。

○議長（富樫順悦） これをもって提案理由の説明を終わります。

これより、質疑に入ります。 質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。 これをもって質疑を終了いたします。

これより、討論を行います。 討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論なしと認めます。 これをもって討論を終了いたします。

これより、議案第2号蘭越町手数料条例の一部を改正する条例についてを採決いたします。

お諮りいたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。

よって、議案第2号は原案のとおり可決されました。

○議長（富樫順悦） 日程第11、議案第3号蘭越町国民健康保険税条例の一部を改正する条例を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。竹内税務課長。

○税務課長（竹内恒雄） ただ今上程されました、議案第3号蘭越町国民健康保険税条例の一部を改正する条例につきまして御説明申し上げます。

今回の改正理由は、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策において、感染症の影響により、一定程度収入が下がった方々等に対し、国民健康

保険税の減免等を行うとされたこと踏まえ、財政支援の対象となる国民健康保険税の減免の取扱いが示されたことに伴い蘭越町国民健康保険税条例において、新型コロナウイルス感染症の影響による減免の特例について、所要の措置を講ずる必要がありますことから、条例の一部改正をお願いするものでございます。

参考資料③、蘭越町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の概要により、御説明申し上げます。

今回の改正に伴う施行年月日につきましては、公布の日から施行するものでございます。

附則第14項は、新型コロナウイルス感染症の影響による国民健康保険税の減免の特例規定の新設であり、減免の対象となる世帯は、1・新型コロナウイルス感染症により、主たる生計維持者が死亡又は重篤な傷病を負った世帯は、全額免除。2・新型コロナウイルス感染の影響により、主たる生計維持者の収入減少が見込まれる世帯は、一部を減免とするものでございます。具体的な要件でございますが、世帯の主たる生計維持者が、①事業収入等、事業収入、不動産収入、山林収入または給与収入のいずれかの減少額が、前年の事業収入等の額の3割以上であること。

ただし、事業収入等の合計額が減少とならない場合は、対象となりません。②前年の合計所得金額が1,000万円以下であること。③前年の合計所得金額のうち、減少が見込まれる事業収入等以外の所得が400万円以下であること。①から③まで、すべてに該当する要件となっております。減免の対象となる国民健康保険税ですが、令和2年2月1日以降に納期限が設定されていることが対象要件であり、令和元年度の国民健康保険税においては、当初課税時から変更がない場合は、第5期分が対象となります。また、年度の途中において、被保険者の異動、所得修正等がある場合は、令和2年2月分・3月分が対象となります。

今年度の国民健康保険税につきましては、全期分が対象となります。

次に、2ページを御覧願います。

国保税の減額ですが、減額対象の国保税は、 $A \times B \div C \times \text{減免割合}$ で求めることとなります。Aは世帯の国保税額、Bは世帯の主たる生計維持者の減少が見込まれる収入にかかる前年の所得金額、Cは主たる生計維持者及び世帯の国保加入者全員の前年の合計所得金額、減免割合は、主たる生計維持者の前年合所得金額に対し、10分の10から10分の2と定められております。

新型コロナウイルス感染症の影響により、主たる生計維持者の事業廃止または失業の場合は、前年の合計所得金額にかかわらず、減免割合は

10分の10となります。ただし、主たる生計維持者が、給与収入者で非自発的失業者の場合、倒産、解雇など会社の都合により、失業保険を受給した場合は、本減免が適用されず、非自発失業者に係る保険税の軽減を適用し、給与所得を30%として計算することになります。

参考までに、40歳以上の夫婦、子供2人、世帯主の給与収入300万円、所得に直しますと192万円になります、資産税なしの場合ですと、通常の国民保険税は、年額31万8,500円となりますが、軽減適用での国保税は、給与所得30%にすることで、法定軽減5割に該当し、年額9万4,400円となり、国保税は22万4,100円減少し、軽減率70.4%となります。また、40歳以上の夫婦、世帯主の収入が184万円、所得110万円、資産税なしの場合ですと、通常の国保税は、年額18万5,000円となりますが、軽減適用での国保税は、給与所得30%にすることで、法定軽減7割に該当し、年額2万7,900円となり、国保税額15万7,100円減少し、軽減率は84.9%となります。

申請受付時期ですが、国では減免制度を理解していなかった、今年の収入見込みに時間を要したなど考えられることから、令和3年3月31日まで申請が可能となっております。

財政措置ですが、令和元年度分の減免分は、全額を特別調整交付金の交付対象、令和2年度分の減免分につきましては、6割を国民健康保険災害等臨時特例補助金、4割を特別調整交付金の交付対象となっております。次に、3ページを御覧願います。参考例を記載いたしましたので、後ほど御覧になっていただきたいと思います。

以上で説明を終わります。よろしく御審議をお願いいたします。

○議長（富樫順悦） これをもって提案理由の説明を終わります。

これより、質疑に入ります。 質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。 これをもって質疑を終了いたします。

これより、討論を行います。 討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論なしと認めます。 これをもって討論を終了いたします。

これより、議案第3号蘭越町国民健康保険税条例の一部を改正する条例についてを採決いたします。

お諮りいたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。

よって、議案第3号は原案のとおり可決されました。

○議長（富樫順悦） 日程第12、議案第4号蘭越町介護予防・生活支援事業条例等の一部を改正する条例を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。山下健康推進課長。

○健康推進課長（山下志伸） ただ今上程されました、議案第4号蘭越町介護予防・生活支援事業条例等の一部を改正する条例について、御説明申し上げます。表紙をめくって、提案理由の箇所を御覧ください。

このたびの改正は、調理が困難な高齢者夫婦世帯からの要望を踏まえ、ふれあい給食事業の対象者を拡大するため、所要の改正を行うものであります。その背景としましては、昨今では高齢者夫婦世帯が増えている状況にありますが、地域包括支援センターが行っている高齢者の安否訪問やケアマネージャーによる居宅介護支援者の訪問を行う中で、生活機能の低下に伴い、調理が困難な高齢者夫婦世帯がみられる状況にあります。そういった方々の中から、ふれあい給食を利用したいという意見があり、今後においても、需要が見込まれるため、対象者を拡大するよう改正するものです。

それでは、参考資料④の新旧対照表を御覧ください。

アンダーライン部分が改正となります。

蘭越町介護予防・生活支援事業条例第3条第1項第6号中「ひとり暮らしの高齢者」の次に「、夫婦ともに介護認定を受けている者及び地域支援事業対象者で75歳以上の夫婦世帯のみの者」を加えます。

次のページになります。蘭越町ふれあい給食サービス事業負担金徴収条例第1条第1項中「老人」を「高齢者、夫婦ともに介護認定を受けている者及び地域支援事業対象者で75歳以上の夫婦世帯のみの者」に改めるものです。なお、附則により、この改正条例の施行日は、令和2年7月1日とするものであります。

以上で説明を終わります。よろしく御審議いただきますよう、お願い申し上げます。

○議長（富樫順悦） これをもって提案理由の説明を終わります。

これより、質疑に入ります。 質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。 これをもって質疑を終了いたします。

これより、討論を行います。 討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

討論なしと認めます。 これをもって討論を終了いたします。

これより、議案第4号蘭越町介護予防・生活支援事業条例等の一部を改正する条例を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認めます。

よって、議案第4号は原案のとおり可決されました。

○議長(富樫順悦) 日程第13、議案第5号蘭越町過疎地域自立促進市町村計画の変更についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。小林総務課長。

○総務課長(小林俊也) ただ今上程されました、議案第5号蘭越町過疎地域自立促進市町村計画の変更について、御説明いたします。

過疎地域に指定されている市町村は、過疎地域自立促進特別措置法に基づき、施設整備等を行う場合は、過疎地域自立促進市町村計画を策定することとなっております。本町の過疎地域自立促進市町村計画は、平成28年3月の定例会において、令和2年度までの期間で議決を頂いておりますが、今年度、過疎対策事業債の申請を予定している事業について、計画の変更をお願いするものです。

1ページを御覧願います。

変更箇所はアンダーラインを引いております。

区分が「1産業の振興」、事業名「過疎地域自立促進特別事業」、事業内容「蘭越町観光協会運営事業」を「蘭越町観光物産協会運営事業」に変更するものです。なお、事業内容の詳細につきましては、説明を省略させていただきます。2ページになります。

区分は「2交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進」、事業名は「市町村道橋りょう」、事業内容は「蘭越第2橋及び小南部橋」を追加させていただくものです。次に事業名は「電気通信施設等情報化のための施設」、事業内容は「指定避難所公衆LAN環境整備事業」を追加させていただくものです。3ページになります。

事業名は「過疎地域自立促進特別事業」、事業内容は、「らんらん号ワゴン車購入事業」を追加させていただくものです。4ページになります。

区分は「3生活環境の整備」、事業名は、「水道施設簡易水道」、事業内容は「蘭越地区簡易水道整備事業」、「豊国地区簡易水道整備事業」を追加させていただくものです。次に事業名は「下水道処理施設農村集落排水施設」、事業内容は「蘭越地区農業集落排水整備事業」を追加させていただくものです。次に5ページを御覧願います。

区分は「5医療の確保」、事業名は「過疎地域自立促進特別事業」、事業内容は「医療機械器具整備事業」を追加させていただくものです。

次に6ページを御覧願います。区分は「7地域文化の振興」、事業名は「地域文化振興施設等その他」、事業内容は「貝の館改修事業」を追加させていただくものです。次に、事業名ですが「過疎地域自立促進特別事業」、事業内容「体育協会運営事業」を「スポーツ協会運営事業」に変更するものです。7ページを御覧願います。

区分は「8集落の整備」、事業名は「過疎地域集落再編整備」、定住促進団地、事業内容ですが「さくら団地建設事業」、「緑ヶ丘定住促進住宅購入」を追加させていただくものです。

なお、この計画の変更につきましては、北海道知事との協議が終了してございます。

以上、過疎地域自立促進特別措置法第6条第7項の規定により、過疎地域自立促進市町村計画の変更について、議会の議決をお願いするものでございます。よろしく御審議をお願いいたします。

○議長（富樫順悦） これをもって提案理由の説明を終わります。

これより、質疑に入ります。 質疑ありませんか。「2番、田村議員」

○2番（田村陽子） 計画の6ページ、貝の館の改修事業が事業内容としてこの計画に載せるということで、それ自体は多分問題ないと思うんですけど、このコロナの状況下で観光業というのがかなり落ち込んで、有名な観光地でさえ、ここからどうお客様に来ていただくかとか、その観光業に力を入れていくか、進めていくかということが課題だと思うんですけど、補修、修理、29年も経って、改修しなきゃいけない部分も必要なかもしれませんが、これは、改修の計画自体は、内容自体は変更するとかいうことは、なくするとかじゃないですけど、今からの観光業を絡めた、考えなきゃならない部分を、変更も迫られるかと思うんですよ。そこの所が、変更あるのかないのかお聞かせ下さい。

考えているのかどうかですね。

○議長（富樫順悦） 小林総務課長。

○総務課長（小林俊也） 貝の館の改修事業なんですけど、この過疎の計画なんですけど、最初に御説明したとおり、過疎債、有利な起債を借りるための事業を載せなきゃいけないというのが大前提でございまして、今年度予算におきましても貝の館の改修については、設計のほうを載せてるといこともございますので、まずその過疎債を使えた事、ということとで考えております。実際、今年改修の設計をしますと、来年度工事に入らないと一定の過疎債も使えないというルールもございますので、そういうことも考えながら事業内容ですね、補修内容なんですけど、これから設計に入りますけど、そういう中で考えていきたいということはあるんですけど、貝の館、長年使っております、やはり海沿いであって、屋根とサッシのほうに傷んでおります。これ以上長く置いておいても維持補修費がよけいにかかるということで、こういう機会ですので、事業のほうは進めていきたいと考えておりますので御理解のほうお願いいたします。

○議長（富樫順悦） 田村議員。

○2番（田村陽子） 事業そのものは進めていくのはいいと思うんですけど、観光業、これからの、お客様来てほしいけどなかなかコロナに対する認識とか、受入れ側、観光として受入れる側の体制をどう考えていらっしゃるか、町長、もしよければ、これからどういうふうに観光のほうを、貝の館を使って改修した、せっかくここの過疎債を使って、だからできる時にというのももちろんわかりますけれど、先を見据えて設計への計画も入っていかないと、意味が無いんじゃないかと思っておりますので、その観光をどう、このコロナの後捉えていくか、進めていくか聞かせていただきたいと。

○議長（富樫順悦） 金町長。

○町長（金秀行） 田村議員の御質問にお答えしたいと思います。

この過疎債の計画に上げるということは、総務課長が説明したとおりでございますので、町のほうとしても、長年老朽化になってる部分もあるので、計画的にこれは進めてまいりたいという考え方は説明したとおりでございます。後段の、議員がおっしゃった、コロナ感染症対策に伴う観光業への影響ということについては、これは今日も一般質問でも答弁

させていただいたとおり、長期間かかるだろうと思っております。すぐに復活するというについてはなかなか難しい部分があります。

その中で今、新北海道スタイルとかいろんなことが出てますけれど、コロナウイルスと一緒にあって、そのウイルス対策も行いながら経済対策、観光業も推進していくという形で考えていかなかったらならないと思っております。その中では、事業所として感染対策、そういうものも含めながら、この安全であるということをしてPRしながらですね、貝の館に来てもらうというような対策も取っていかないとかならないと思っております。それと、私が今期待しているのは、今年4月から蘭越の観光協会というのが法人化されました。その中でいろんな観光事業を、観光協会の中でも取り入れていくというか、考えていただくという部分があります。これまでは行政が主体となってやってきたいろんな部分をですね、民間の力を借りながら、貝の館もいろんな部分で活用していってもらうような、そういうことも私も期待してるところでございます。

議員がおっしゃってる部分で、なかなかすぐに復活していくということは、私も難しいことだと理解しておりますが、コロナ感染というその部分の中で、安全対策、感染対策に十分注意をしながら、その中でも貝の館として持っている、クリオネ等も含めたいろんな貝の魅力、そういうものを学習の場、そういうものも含めて提供していけるように、努力してまいりたいと考えております。今回、学芸員プラス新しい会計年度職員の方も1名配置しながら、いろいろ貝に詳しい方々がおりますので、やはりここに来たらいろんなことを知れる、そういう部分も含めて、安全対策を講じながら貝の館の魅力というものを発信していければいいかなというふうに、今考えております。何年にこうする、こうしていくというより、コロナ対策の中では時間がかかる、そういう分もありますので、そこ付き合いながら振興を図っていくという考え方をもっていますので、御理解願いたいと思います。

○議長（富樫順悦） 田村議員。

○2番（田村陽子） 方向性としてはわかりますが、これから設計に入るということなので、コロナ対策にきちっと対応できるような、せっかく作ったけどそこからまた、ここだめ、あれだめとそこで対策をしなかったらいけないということじゃなくて、既に考えられる部分の設計というのを取り入れていただきたいのと、本来観光というのは、来ていただきたい、もちろんそれが1番だと思いますし、そこでお金を落とし

ていただくということが地域にとっても大事なんですけど、来なくてもお金を落としていただけるような、収入になるような仕組み、そういうものも同時に進行で考えていかないとならないんじゃないかと思っています。以上です。

○議長（富樫順悦） 金町長。

○町長（金秀行） 議員がおっしゃっていただいた、非常に観光を振興する中でも、コロナウイルスという今その部分の対策を含めて整備を凶っていくべきだという御意見も頂きましたので、非常に今回は、屋根とかサッシが相当古くなっているという部分もあるので、そこを中心とした改修を行いたいというふうに考えております。

それと併せて、来る方々が感染対策も含めて非常に安全だというような中の体制、それとちょっとした整備というか、そういう部分も一緒になってやる時に、内部で十分検討しながら行ってまいりたいと考えておりますので、御理解願いたいと思います。

○議長（富樫順悦） ほかに質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。 これをもって質疑を終了いたします。

これより、討論を行います。 討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論なしと認めます。 これをもって討論を終了いたします。

これより、議案第5号蘭越町過疎地域自立促進市町村計画の変更についてを採決いたします。

お諮りいたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。

よって、議案第5号は原案のとおり可決されました。

○議長（富樫順悦） 日程第14、議案第6号工事請負契約の締結についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。北山建設課長。

○建設課長（北山誠一） ただ今上程されました、議案第6号工事請負契

約の締結につきまして、御説明申し上げます。

本件は、御成橋橋梁補修工事につきまして、去る6月9日に指名競争入札に付した結果、佐藤・石田・高橋経常建設共同企業体が落札し、請負契約を締結するため、地方自治法第96条第1項第5号及び蘭越町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定によりまして、議会の議決をお願いするものです。

契約の目的は御成橋橋梁補修工事です。契約の方法は、指名競争入札による契約です。契約金額は、消費税1,435万円を含む1億5,785万円で、予定工期は令和3年1月28日に設定しております。

契約の相手方は佐藤・石田・高橋経常建設共同企業体 代表者磯谷郡蘭越町蘭越町238番地、佐藤建設株式会社代表取締役・小山茂則氏であります。なお、入札においては、7社を指名し、執行しております。

次に工事の概要につきまして、御説明申し上げます。

参考資料⑤を御覧願います。

工事場所は蘭越町字御成で、町道御成共栄線に架かる御成橋でございます。工事箇所は、側面図の黄色で表示している第1径間から第3径間になります。工事内容は上部鋼材の塗装、橋台、橋脚のひび割れ補修、伸縮装置取替など右下の赤で表示しております工事一覧表の内容となっております。次のページにつきましては、仮設工図で赤色部分が、吊り足場の設置及び飛散防止の囲いを行う部分を表示しております。

なお、工事期間中は、施工上、道路に資材等を仮置きすることになるため、通行帯の確保が難しく、最大限の安全確保に配慮したところ、全面通行止をしなければなりません。昨年同様、御成橋を御利用する皆様方には御不便をおかけしますが、御協力を頂くこととなります。

なお、通行止めにつきましては、現場付近に看板を設置するとともに住民の皆様への周知については、工事請負契約の締結について、議決を得られましたら、ふれあい通信、行政協力員宛文書、町ホームページでお知らせするとともに、御成橋の近隣の方には担当係が個別に訪問し協力をお願いすることとしております。

以上で説明を終わります。よろしく御審議くださいますよう、お願い申し上げます。

○議長（富樫順悦） これをもって提案理由の説明を終わります。

これより、質疑に入ります。 質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。 これをもって質疑を終了いたします。

これより、討論を行います。 討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

討論なしと認めます。

これより、議案第6号工事請負契約の締結についてを採決いたします。
お諮りいたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認めます。

よって、議案第6号は原案のとおり可決されました。

○議長(富樫順悦) ここで10分間休憩に入ります。

再開は15時35分といたします。

○議長(富樫順悦) 再開いたします。

○議長(富樫順悦) 日程第15、議案第7号令和2年度蘭越町一般会計補正予算を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。小林総務課長。

○総務課長(小林俊也) ただ今上程されました、議案第7号令和2年度蘭越町一般会計補正予算第4号につきまして、御説明申し上げます。

現在、この会計の予算の総額は、67億5,659万9,000円で、歳入歳出それぞれ、1億2,439万8,000円を追加し、68億8,099万7,000円とするものです。また、歳入歳出予算の補正の款・項の区分、及び当該区分ごとの金額、並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」によるものです。

次に継続費の補正ですが「第2表 継続費補正」によるものです。のちほど御説明します。次に地方債の補正ですが「第3表 地方債補正」によるものです。こちらも、のちほど御説明します。

なお、今回の補正予算で4月の人事異動等による給与等の補正も行っておりますが、人件費の給与費明細につきましては、この補正予算の最後に添付してございますので、人件費の2節、3節、4節につきましては、説明を省略し、各項目の補正額のみ説明とさせていただきます。

それでは事項別明細書の歳出から御説明いたします。

10ページを御覧願います。

2款総務費 1項総務管理費 1目一般管理費、補正額719万9,

〇〇〇円。特定財源その他35万1,000円は、賠償保障保険金3万6,000円、社会保険料31万5,000円です。

1 報酬203万3,000円。会計年度任用職員報酬で、職員の異動によるものです。2、3、次のページ、4は説明を省略いたします。8 旅費9万円。会計年度任用職員費用弁償で、職員の異動によるものです。21 補償補填及び賠償金3万6,000円。議案第1号で御説明いたしました施設内事故に係る賠償金です。

4 目財産管理費、補正額15万7,000円。11 役務費15万7,000円。電話料で、役場庁舎へ整備予定の公衆無線LAN環境整備に係る使用料です。

5 目企画費、補正額280万円。18 負担金補助及び交付金280万円。ハイヤー運行維持事業補助金の追加で、老朽化したハイヤー1台の入替に係る車両購入費用を、町民の交通確保を図るため、運行事業者へ補助するものです。12 ページを御覧願います。

11 目住民運動振興費、補正額240万円。特定財源・その他240万円はコミュニティ助成事業助成金で、目名生活改善センターの集会用の机、イス整備の申請を一般財団法人自治総合センターへ提出しておりましたが、今回、宝くじ社会貢献事業として蘭越町地域活動推進協議会への助成決定を受けたものです。18 負担金補助及び交付金240万円。蘭越町地域活動推進協議会への補助金の追加です。

12 目定住促進対策事業費、補正額5万1,000円。8 旅費5万1,000円。会計年度任用職員費用弁償で、地域おこし協力隊の通勤手当分です。

13 目施設管理費、補正額33万7,000円。11 役務費33万7,000円。電話料で、目名・名駒生活改善センター、昆布活性化センター及び三和コミュニティ会館に整備予定の公衆無線LAN環境整備に係る利用料です。

14 目防災対策費、補正額5,501万7,000円。特定財源、国・道支出金3,778万円は、公衆無線LAN環境整備支援事業補助金748万円、また、津波避難タワーに係る事業費が設計委託料も含め、社会資本整備総合交付金の対象となり、3,030万円補正するものです。

地方債1,700万円は、指定避難所公衆無線LAN環境整備事業債370万円、仮称港地区津波避難タワー建設事業債1,330万円の追加です。12 委託料150万円。仮称港地区津波避難タワー建設工事監理委託料で、実施設計が終わり、2か年で工事を行うことから今年度分に係る監理委託料です。13 使用料及び賃借料19万7,000円。行政

通信システムに係る電柱の共架使用料です。14工事請負費5,332万円。公衆無線LAN環境整備工事1,122万円は、災害時等に備え、役場、保健福祉センター、目名、名駒生活改善センター、こんぶ活性化センター、介護予防拠点センターみなと、三和コミュニティ会館、総合体育館の8か所にそれぞれ、無線LANの環境整備を行うものです。次に、仮称港地区津波避難タワー建設工事4,210万円は、実施設計が終了し、2か年での工事で実施していきませんが、今年度は杭工事を予定しております。

16目新型コロナウイルス感染症対策費につきましては、参考資料⑥で御説明いたしますので、御覧願います。

補正額は、3,437万9,000円で、歳入になります。特定財源、国支出金3,437万9,000円は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金2,674万5,000円で、うち国庫補助事業に係る地方負担分として別に471万1,000円となっています。次に公立学校情報機器整備費補助金758万6,000円。学校保健特別対策事業費補助金4万8,000円です。

次に、歳出になりますが初めに、1・学習用タブレット整備事業で、総事業費は1,669万5,000円で、財源内訳は御覧のとおりです。

事業内容ですが、災害や感染症の発生等による学校の臨時休校等の緊急時においても、ICTの活用によりすべての子どもの学びを保障できる環境を早期に実現するため、児童1人1台端末や家庭でも繋がる通信環境の整備を行うもので、事業費は、役務費597万3,000円、学習用タブレット設定手数料及び導入支援手数料です。

備品購入費1,072万2,000円は、学習用タブレット226台ほか購入するものです。2ページを御覧願います。

2・小中学校感染症対策環境整備事業で4つの事業の総事業費は、922万2,000円です。財源内訳は御覧のとおりです。一つ目ですが、扇風機購入事業で、総事業費は103万円です。事業内容は、夏休みの短縮により夏場の登校日が増えることから、換気を良くすることにより、感染症予防につながり、また、熱中症対策としても効果があるため、扇風機を各小中学校へ整備するもので、事業費は、備品購入費として扇風機26台購入するものです。②中学校普通教室拡幅事業で総事業費286万円。事業内容は、1年生普通教室の間仕切り壁を撤去し、密にならないよう感染症対策としても教室の拡幅を行うものです。事業費は修繕料286万円です。③網戸整備事業で総事業費は、520万3,000円。事業内容は、換気を良くすることにより感染症予防につながることから、各

小中学校へ網戸を購入し整備するもので、事業費は備品購入費として、網戸179枚を購入するものです。④非接触型体温計購入事業で、総事業費12万9,000円、財源内訳は、御覧の内容です。事業内容は、感染症対策として非接触型体温計を整備するもので、事業費は消耗品費、非接触型体温計13本購入するものです。3ページを御覧願います。

3・店舗等飛沫感染防止措置助成事業で総事業費は200万円。事業内容は、店舗、事務所、学習塾等で対面接客等を行う事業所に対し、感染予防ため、飛沫感染防止措置を講じたものに対し、その要した経費の10万円を上限に助成するもので、事業費は、補助金で200万円です。

4・公共施設感染予防対策事業で3つの事業の総事業費は111万6,000円です。①町民センターロビー網戸整備事業で総事業費は22万円。事業内容は、換気を良くすることにより感染症予防につながることから、人が多く集まる町民センターロビー搬入口に網戸を整備するもので、事業費は、備品購入費として、搬入口2ヶ所分、網戸を購入するものです。②花一会図書館書籍除菌ボックス購入事業で総事業費は31万7,000円。事業内容は、感染症予防のため、図書の貸出、返却時に、除菌を行う機器を整備するものです。事業費は、備品購入費で、除菌ボックス1台購入するものです。③オンライン会議用電算機器整備事業で総事業費は57万9,000円。事業内容は、オンライン会議が増えていることから、庁舎内の環境整備を図るものです。事業費は、備品購入費57万9,000円で、パソコン、ディスプレイ等、購入するものです。

次に、継続して実施しておりますが、建設業等経済対策事業として534万6,000円の追加をするものです。修繕料として、ランラン公園木製遊具修理220万円ですが、当初予算では撤去する予定でございましたが、調査したところ、補修可能なため行うものです。

次の、ふれあい広場安全対策修理254万1,000円ですが、役場中庭にあります、親水施設付近の安全整備を図りたく、中庭花壇の一部及び石壁を撤去するものです。また、庁舎委員会室仕切壁撤去修理60万5,000円ですが、通行するにも不便をきたしていました仕切り壁を撤去し、委員会室を広く使用できるよう、修理するものです。

いずれも経済対策を主として実施していくものでございます。

以上16目の説明を終わります。

申し訳ありませんが、補正予算の議案13ページにお戻りください。

2款総務費 2項徴税費 1目税務総務費、補正額1万4,000円。

3は説明を省略します。

2款総務費 3項戸籍住民基本台帳費 1目戸籍住民基本台帳費、補

正額284万2,000円の減。特定財源、その他31万5,000円の減は、社会保険料です。1報酬203万3,000円の減。会計年度任用職員の異動によるものです。14ページを御覧願います。

3職員手当等17万円の減。会計年度任用職員の期末手当です。4共済費63万9,000円の減。会計年度任用職員の社会保険料です。

3款民生費 1項社会福祉費 1目社会福祉総務費、補正額756万8,000円。2,3,4は説明を省略します。次のページになります。

18負担金補助及び交付金241万4,000円。蘭越町社会福祉協議会補助金で、事務局長の交代及び職員の新規採用に伴う人件費の増額分です。

3目老人福祉費、補正額196万円。18負担金補助及び交付金196万円。補助金で、特別養護老人ホーム一灯園、高齢者グループホームらんこしへの燃料費等助成で、蘭越厚生事業団から今年度も、冬期間の燃料費等の助成要望があり、補正をお願いするものです。

7目ふれあいプラザ21費、補正額4万円。10需用費4万円。修繕料で、照明器具安定器取替及び壁紙の修理を行うものです。

8目介護予防拠点センター費、補正額8万7,000円。11役務費8万7,000円。電話料で、公衆無線LAN環境整備に係る使用料です。

3款民生費 2項児童福祉費 1目児童福祉総務費補正額、31万3,000円の減。3は説明を省略します。16ページになります。

4款衛生費 1項保健衛生費 1目保健衛生総務費、補正額1,041万2,000円の減。2,3,4は説明を省略します。次のページになります。18負担金補助及び交付金120万円。昆布温泉病院への燃料費等助成で、医療法人社団静和会から、冬期間の暖房費と患者送迎車の燃料に対する助成の要望があり、補正をお願いするものです。

5目診療所費、補正額2,559万7,000円。特定財源の地方債、2,550万円は、嘱託医師確保対策事業債、過疎債ソフト分です。18負担金補助及び交付金2,559万7,000円。補助金で、昆布診療所及び蘭越歯科診療所との業務委託に係る所得補償として昆布診療所が1,964万8,000円で、蘭越歯科診療所が594万9,000円です。

9目保健福祉センター費、補正額9万7,000円。11役務費9万7,000円。電話料で、公衆無線LAN環境整備に係る使用料です。

4款衛生費 2項清掃費 2目じん芥処理費、補正額16万8,000円。1報酬16万8,000円。会計年度任用職員報酬で、土曜日の粗大ごみ受入時の報酬です。

3目浄化槽整備費、補正額15万1,000円。22償還金利子及び割

引料15万1,000円。浄化槽設置整備事業補助金返還金で、過年度実績に係る返還金です。18ページを御覧願います。

4款衛生費 3項上水道費 1目飲用水施設整備費、補正額691万6,000円の減。18負担金補助及び交付金177万円。飲用水施設整備事業補助金で、水道区域外の居住者2名から申請があり補正するものです。27繰出金868万6,000円の減。簡易水道事業特別会計繰出金の減です。

6款農林水産業費 1項農業費 2目農業総務費、補正額844万8,000円。2、3、次のページになります。4は説明を省略します。

3目農業振興費、補正額1,006万9,000円。特定財源、国・道支出金1,006万9,000円は、畑作構造転換事業補助金です。

18負担金補助及び交付金1,006万9,000円。畑作構造転換事業補助金で、内示があり、町畑作組合に対し補助するものです。

5目農地費、補正額9万円の減。27繰出金9万円の減。農業集落排水事業特別会計繰出金の減です。

6目農業推進対策費、補正額6万7,000円の減。8旅費6万7,000円の減。会計年度任用職員の通勤に係る費用弁償の減です。

10目中山間地域等直接支払事業費、補正額2万3,000円の減。8旅費2万3,000円の減。会計年度任用職員の通勤に係る費用弁償の減です。

7款商工費 1項商工費 1目商工総務費、補正額80万7,000円の減。2、20ページになります、3、4は説明を省略します。

6目貝の館費、補正額3万円。8旅費3万円。会計年度任用職員の通勤に係る費用弁償の追加です。次のページになります。

8款土木費 1項土木管理費 1目土木総務費、補正額1,141万1,000円。2、3、4は説明を省略します。

8款土木費 2項道路橋りょう費 1目道路橋りょう総務費、補正額1,115万9,000円の減。2、3、22ページになります、4は、説明を省略します。

6目除雪費、補正額302万1,000円の減。2、3、4は説明を省略します。

8款土木費 4項住宅費 3目定住促進住宅建設費、補正額370万8,000円の減。2、3、次のページになります、4は説明を省略します。7報償費20万円。緑ヶ丘定住促進住宅建物提案書作成報奨金で、5社から提案があり、選定されなかった4社への提案書作成に係る報奨金です。

8款土木費 5項都市計画費 1目公園管理費、補正額16万5,000円の減。11役務費16万5,000円の減。遊具撤去手数料の減で、当初撤去予定の遊具を、補修することとしたため減とするものです。

9款消防費 1項消防費 2目非常備消防費、補正額32万3,000円。18負担金補助及び交付金32万3,000円。羊蹄山麓消防組合負担金で、消防団救助能力向上資機材緊急整備事業により水難救助用器具、ボートのほうを申請しておりましたが補助金3分の1の内示を受けたため、町負担分において補正するものです。24ページを御覧願います。

10款教育費 1項教育総務費 2目事務局費、補正額60万8,000円の減。2,3,4は説明を省略します。10需用費17万円。消耗品費で発達検査用具を購入するものです。次のページになります。

10款教育費 2項小学校費 1目学校管理費、補正額77万円。特定財源国・道支出金25万6,000円は、学校施設環境改善交付金、地方債50万円は、蘭越小学校バリアフリー改修事業債です。12委託料77万円。蘭越小学校バリアフリー改修実施設計委託料で、来年度に肢体不自由児童が就学を予定していることから、玄関昇降口の改修等、受け入れに向けた改修を行うため設計を委託するものです。

10款教育費 4項社会教育費 1目社会教育総務費、補正額465万1,000円の減。2,3,4は説明を省略します。26ページを御覧願います。

10款教育費 5項保健体育費 2目体育施設費、補正額10万7,000円。11役務費10万7,000円。電話料で、公衆無線LAN環境整備に係る使用料です。

続いて、歳入に戻ります。8ページを御覧願います。

16款国庫支出金は説明を省略します。

21款繰越金 1項繰越金 1目繰越金、補正額352万2,000円の減。1繰越金、前年度繰越金です。なお、決算審査等は今後となりますが、5月末で令和元年度の出納整理期間が終了し、令和元年度一般会計の歳入歳出の差引金額は、繰越明許費を含めまして約3億4,000万円となっております。次のページになります。

22款諸収入、23款町債は、説明を省略します。

4ページを御覧願います。

第2表継続費補正につきまして御説明いたします。追加で、2款総務費 1項総務管理費、事業名は、仮称港地区津波避難タワー建設事業で、総額は工事監理委託料880万円、建設工事2億4,350万円、総額2億5,230万円です。令和2年度で、4,360万円、令和3年度が2

億870万円としております。次のページになります。

第3表地方債補正につきまして御説明いたします。

始めに、追加ですが、起債名は、学校教育施設等整備事業債で、限度額は50万円です。利率、償還の方法につきましては御覧のとおりです。

次に、変更で起債名は過疎対策事業債ですが、補正前の限度額は8億4,320万円でしたが、5,950万円を追加し、9億270万円とするものです。起債の方法、利率、償還の方法につきましても従前と変更ありません。

次の、緊急防災・減災事業債ですが、補正前の限度額は2,040万円でしたが、仮称港地区津波避難タワー建設実施設計委託に係る起債については、社会資本整備交付金の対象になったことにより、緊急防災・減災事業債は適用にならないということで、他の起債、現在過疎債での申請をしておりますが、1,700万円を減額し、340万円とするものです。なお、起債の方法、利率、償還の方法につきましては、従前と変更ありません。以上で説明を終わります。

よろしく御審議いただきますよう、お願いいたします。

○議長（富樫順悦） これをもって提案理由の説明を終わります。

これより、質疑に入ります。

質疑ありませんか。 「3番、永井議員」

○3番（永井浩） 二つほどお願いします。一つ目は、12ページの港地区津波避難タワー建設工事について、二つ目は17ページ、昆布温泉病院燃料費等助成事業です。まず一つ目なんですけど、新聞、建設新聞によると、今年は杭工事と基礎工事と書いてたんですね。金額的には基礎工事は入ってない、これ、確認だったんですけど、杭工事だけでしょうか。

それともう一つ、昆布温泉病院に対する助成なんですけど、ちょっと調べたら、やはり、昆布温泉病院に対してはこの燃料費120万しか項目ないんですけど、ほかに何か予定されているものはあるかどうか、この2点についてお願いします。

○議長（富樫順悦） 総務課参事。

○総務課参事（渡辺貢） 津波避難タワーについてお答えいたします。

タワーの今年度実施は杭工事でございます。9月下旬に着工して11月に工事のほう予定しております。12月から3月は休工としまして、

翌年度4月以降、基礎、それから躯体内装工事、外構工事、12月には竣工となっております。よろしく申し上げます。

○健康推進課長（山下志伸） 2点目の昆布温泉病院の燃料費助成について御説明申し上げます。このほかに何か要望がなかったかということですが、今年については特に要望がありません。過去に、平成10年度から10年間、毎年1,000万、1億ほど補助をしたという経過があります。いずれにしましても、昆布温泉病院につきましても、本町で非常に必要な医療機関でありますので、今後もいろいろ情報共有しながら、申請があればまた検討して、議会にも御理解を得ながらいろいろ支援していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（富樫順悦） 永井議員。

○3番（永井浩） 昆布温泉病院については、札幌の琴似中央病院ですか、それが昆布に支店みたいな形で来ていただいて、かれこれ長くなります。救急業務から外来、それから病棟も持って、かなり町民のためにも素晴らしい事業展開をやっておりますし、平成30年12月からは、新たに国が創設した介護医療院施設に一部転換して、医療病棟やそれから介護医療院1型2型、そして外来、在宅治療の訪問治療等々、蘭越町の医療については本当に基幹たる病院で活躍していただけてますし、また職員は110名ほど、医師含めて110名ほどの職員、パート、派遣社員で構成されており、大体調べると、55%くらいが蘭越の町民であるということです。前、ちょっとお話を聞いたところですね、やはりけっこう辛い思いの経営内容だと。逆に会計士さんからは、ここにいる必要があるのかという財務内容だということをお聞きしたことがあります。

今、要望には応えていきたいということですが、いろいろコミュニケーションを取ってですね、いろんな援助ができないものか、お互い話し合ってますね、なんとか新しく統合診療所と、今の昆布温泉病院が蘭越の2大病院で、蘭越の町民のために、また老人、医療のために活躍できる、足元がしっかりした病院になっていただきたいと思うので、また昆布の活性化、昆布地区の活性化のためにもですね、あの施設がしっかりした状況にあることを望んでいるのですが、その辺について町長、何かこう、コミュニケーション取りながらですね、もっともっと経営が楽になるような手立てをお願いしたいと思うのですが、どうでしょうか。

○議長（富樫順悦） 金町長。

○町長（金秀行） 永井議員の御質問にお答えいたします。

私どもも、昆布温泉病院ですね、後志広域連合の介護計画の中に策定をしている介護医療院として、計画の中に入れておきまして、この後志広域連合区区域内の中でも、昆布温泉病院というのは重要な位置付けになっているという部分でございます。当然、蘭越町の住民に対しても、そういう介護の、入院、そういうもの含めて大変お世話になって、この病院はなくてはならない施設だと私も認識しているところでございます。

昆布温泉病院とのコミュニケーションについては、今、担当課長のほうからもいろいろですね、いろんな今の現状とかそういう部分を、話は聞いております。その中で今、コロナウイルス対策の関係があって、マスク、それとか消毒関係、そういうものも町のほうで入手したものは、各病院関係のほうに無ければ配布をするということで、これまでも行ってきた、今年になって行ってきた、そういう経過もあります。

更には、人材育成という部分の中で、介護職員、それに対して、町の単独事業として介護で働いている方々に対して町のほうで支援をしている、そういうようなことも行っております。

議員からおっしゃってる、私も昆布温泉病院というのは重要な位置付けと考えておりますので、常時、事務長とは担当課のほうでお話を、情報交換をしている状況があります。それは、統合診療所ができあがって、そして町立の病院として運営していく。昆布温泉病院は民間ですが、蘭越町にとっては重要な病院ということもありますので、その辺の連携というものも必要になってきますので、担当のほうにはいろんな分で情報交換を行いながら、そしてもし昆布温泉病院として何か不便なこととかあったらお話を聞いて、町の中でできること、できないことあるとは思いますが、十分内部で検討して、議会の皆さんにも協議していただいた部分の中で、支援できるものは私は支援してまいりたいという考え方でおりますので、御理解願いたいと思います。

○議長（富樫順悦） 永井議員。

○3番（永井浩） ありがとうございます。よろしくおねがいします。
質問を終わります。

○議長（富樫順悦） ほかに質疑ありませんか。 「2番、田村議員」

○2番（田村陽子） 2番田村です。12ページの新型コロナウイルス対策費の、参考資料の小学校中学校への扇風機の件でちょっとお伺いしたいんですけど、まず一つは扇風機ということであげられているんですけど、このクーラーの設置の話も出なかったのかなという部分と、扇風機の台数、1教室に何台ずつ、今多分1台で、追加で1教室に2台くらいなのかなとちょっと子どもたちと話はしてたんですけど、そこの今の教室、それで導入して、1教室何台になるかというのをまずお聞かせいただけますか。

○議長（富樫順悦） 田縁教育次長。

○教育次長（田縁幸哉） 各学校のクーラーということについて、お答えしたいと思います。クーラーと言いますか、エアコンですね、これにつきましては、教室の温度は下げることが可能ですけど、空気を循環と言いますか、温度を下げるために戸などを閉めることになりますので、コロナの細菌がですね、中で循環して感染予防にはならないものとされておりますので、網戸と扇風機ですね、これで教室が密閉にならないように、そういうことで暑さ対策とコロナ対策、これを考え、このような選択になったということでございます。

扇風機の現状ですけど、昆布小学校で5台、蘭越小学校で15台、蘭越中学校で8台ということになっております。普通教室最低1台は配置の状況になっておりますけれど、今回、蘭越小学校のほうに10台、昆布小学校のほうに5台、中学校のほうに11台ということで、設置のほう、普通教室のほうに2台も可能ですし、場合によっては特別教室のほうにも可能ということになります。

○議長（富樫順悦） 田村議員。

○2番（田村陽子） 本来私、北海道は冷房いらないなと思ってはきていたんですけど、ここ数年の夏の蒸し暑さ、そういうのもありますし、例えば扇風機で循環とおっしゃいましたけど、逆に扇風機でウイルスなんか全体に回るんじゃないかという懸念もあったりするんですよ。

最大の懸念は、体育授業とか休憩中に子ども達が外で遊んできた後の、教室でマスクをつけなきゃいけない状況で、網戸で風が入れば、いい風入ればいいんですけど、子どもたちの熱くなった体にマスクをして、扇風機2台あるにしても、当たる子と当たらない子、風の向きによって、そ

ういう差も出てきて、暑い思いもあると思うんですよね。そこはもうやっぱり扇風機じゃ限界あるんじゃないかと。教師のほうもその中で授業せざるを得ない、子どもにとっても教員にとっても、学習意欲の効率というか、低下していくんじゃないかとちょっと懸念しているんです。

そして、夏休みが短縮されてということで、午前中のお話ありましたが、そういう中で本当に夏の盛りの時に、暑い学校に行かなかったらいけないという可能性があると思うんですよね。子どもたちも汗かいた後に、風で風向きで汗のにおいがするとか、そういうことも考えられますし、これを機会にクーラーの設置なんかもできればいいんじゃないかなと、この対策の中では思っていたんです。これが扇風機でいくということでお話進めていらっしゃるんですけど、これは、冷房、クーラーの設置へのお話にはならないということでしょうか。

○議長（富樫順悦） 首藤教育長。

○教育長（首藤一幸） 今の田村議員の御質問でございますけれど、今、次長からお話しましたように、既存の台数については、3つの学校で28台ありまして、1教室に1台か2台設置されているんですよね。

1台、背の高いのを2台置くとかなり教室が涼しくなると、今までもお話聞いておまして、ただ、そうは言っても夏休み期間延びる中で、更に暑い中でということで、今回26台購入することで全体で54台、それによって暑いときは3台から4台置けるということで、かなり効果があるというふうには考えております。また、体育の時間にマスク外してもいいんですけど、校長先生にはですね、原則マスクをするんですけど、子どもたちの熱中症とか体調管理には十分気を付けて、やっぱり体調見ながら、マスクを外さないとならない時については十分様子を見てくれということもお話をしておりますが、そういうことで先ほど、クーラーにつきましては換気の部分で課題もありまして、扇風機と網戸で換気の中で十分対応できるんじゃないかと考えておりますので、御理解願いたいと思います。

○議長（富樫順悦） 田村議員。

○2番（田村陽子） まあ基本、私もクーラーは子どもたちの体にも良くないと思っているので、大きな扇風機なんですよ、大型の。家庭にある小さいのではなくて。それを複数台、最低でも教室には何かしら全員に

風が当たるようなことを、ちゃんとやっていただけるということなので、分かりました。終わります。

○議長（富樫順悦） ほかに質疑ありませんか。 「6番、難波議員」

○6番（難波修二） 2点、伺います。19ページの畑作構造転換事業、畑作組合に対してということでした。中身もちょっと説明して欲しいなと思います。それから25ページの小学校費のバリアフリー改修実施設計委託料77万円ということです。来年度、肢体不自由児を受け入れるということで、そのための実施設計ということです。来年度入学とすれば、今年度中に実施設計をやって、すぐ工事にかかると、そういう捉え方でいいのかなと思うんですけど、玄関のスロープとかそういうことだと。で、その子がどういう状況かというのが分かりませんが、そういうハードの整備だけで済むのかどうか、その子を受け入れるために学校の中の、いわゆるソフト面の、例えば医療的行為を伴う程度の重症なのか、それらについては全くかまわない、いわゆる介助が必要かということですね、そういうソフト面での整備というのが伴って必要になるのかどうかというあたりがお聞きしたいことなんですけど、よろしくお願いします。

○議長（富樫順悦） 西河農林水産課長。

○農林水産課長（西河修久） 難波議員の御質問にお答えいたします。

1点目の、畑作構造転換事業の中身でございますが、事業の目的といたしましては、持続可能な畑作産地を形成するため、効率的作業体系や病虫害リスクの軽減等の畑作地域の生産性向上に向けた取組を支援するものでございまして、具体的な中身といたしましては、蘭越におきましては、蕎麦の圃場での、サブソイラーによる心土破碎、硬くなった地層を破碎する、これが主な事業でございまして、これが約900万円、それ以外に馬鈴薯の関係で病虫害の抵抗品種の導入等、事業を予定しているところでございます。

○議長（富樫順悦） 田縁教育次長。

○教育次長（田縁幸哉） 蘭越小学校のバリアフリーの関係の御質問ですけど、今回の補正予算で実施設計のほう、議決頂きましたら、直ちに発注しまして、工事請負のほうを9月の議会に提案させていただいて、工

事自体は冬休みまでには完了してですね、来年の入学には間に合わせたいとそのようなスケジュールで組んでいるところです。受入れします児童の方は、足のほうが不自由ということで、車椅子もしくはバギーと言いますか歩行器、そういう状態で学校のほう、通うことになるということです。1、2年生は1階のほうで授業、普通教室ありますので、そちらのほうで授業受けていただくというようなことで、議員おっしゃったとおり、様々な介助みたいなものが必要になると思います。例えば登校の時、玄関をどういうふうに入っていくかとかですね、給食とかトイレとかいろいろな所で支援が必要になるかもしれません。今後ですね、そういうものを先生、教育委員会のほうで協議をしながら来年に向けて準備のほう進めていかなければならないと考えております。

○議長（富樫順悦） 難波議員。

○6番（難波修二） 畑作構造転換事業、その対象となる団体なり、個人ではないのかよく分かりませんが、蕎麦の圃場と馬鈴薯の対象となる団体等、分かりましたら教えて下さい。

それから、小学校のほうです。行く先々でいろんなことが出てくるんだろうと。まあ、1、2年生のうちには1階で大丈夫ですよと。3、4年生になったら階段どうして上がっていくんだということが、いずれこれからも出てくるんだろうと思います。そういうことについては、ぜひ、子どもさんと親御さんがしっかり安心できるように、早め早めで手だてを講じますよということを伝えていくことも大事かと思っております。

それからトイレですけど、やっぱり多目的トイレのように、一人ではなかなか今の学校のトイレでは難しいかと思えます。多目的トイレを変に活用する輩もいるんですけど、やっぱりそういうものを持つことで本人なり親御さんも安心できると。そういうことを前もって十二分に伝えるように、進めて欲しいと思います。来年、入学するということで、安心を早め早めに確保してあげると。来年度はこれですけど、次年度以降についても逐次こういう手立てを講じていきますよという、そういうことを伝えていって欲しいなと、お願いしたいと思えます。

○議長（富樫順悦） 西河農林水産課長。

○農林水産課長（西河修久） お答えいたします。

対象となる団体でございますが、蘭越町畑作組合となっております。

具体的に、まず蕎麦なんですけど、対象事業予定者が3件、馬鈴薯でございますが10件、種子馬鈴薯が3件、そして先ほどお話しておりませんでしたけど、輪作体系に向けた作付体系の改善ということで子実用トウモロコシの導入が1件。以上でございます。

○議長（富樫順悦） 首藤教育長。

○教育長（首藤一幸） ただ今のバリアフリーの件でございますけれど、今回、実施設計の委託をいたしまして、先ほど次長言いましたように、工事につきましては9月にまた補正をお願いしまして、年度内に終わらせたいと考えておりますが、今回行う部分については、玄関もスロープ、それから多目的トイレをつくる、それから廊下の手すり設置、それから水飲み場の改修、教室等の改修も行います。で、1、2年生の間は1階なんですけど、3年生以降になった場合、上の階に行った時にどうするかということにつきましても、保護者ともいろいろ打合せしておりますけれど、必要に応じてそれがエレベーターが必要なのか、昇降機が必要なのかということにつきましては、またその間に現在検討しながら進めてまいりたいということで、保護者の理解も得ながら進めたいと考えておりますので、御理解願いたいと思います。

○議長（富樫順悦） 難波議員。

○6番（難波修二） 畑作のほうは理解しました。

このバリアフリーのほうなんですけど、肢体不自由児ということですから、特別支援学級に措置するにしても、やっぱりできるだけ親学級と一緒にということになると思うんですよね。そうすると、普通教室の中で子ども達と学ぶと、そういうことだと思いますので、基本的には学習活動は普通の健常な子と一緒にと、そういう形になってくるだろうと思うんですよね。ですから、そういう意味ではやらなければならないこともたくさんありますので、ぜひ親御さんの要望あるいはその特別支援教育の連携協議会を通じてですね、より良い環境を整えてあげると、そういうことについてぜひ配慮をしてほしいという要望で、答弁はいりませんけど、お願いしたいと思います。

○議長（富樫順悦） 答弁いいですか。ほかに質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。 これをもって質疑を終了いたします。
これより、討論を行います。 討論ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

討論なしと認めます。

これをもって討論を終了いたします。

これより、議案第7号令和2年度蘭越町一般会計補正予算を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認めます。

よって、議案第7号は原案のとおり可決されました。

○議長(富樫順悦) 日程第16、議案第8号令和2年度蘭越町簡易水道事業特別会計補正予算を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。北山建設課長。

○建設課長(北山誠一) ただ今上程されました、議案第8号令和2年度蘭越町簡易水道事業特別会計補正予算第1号につきまして、御説明申し上げます。この会計の現在の予算の総額は、1億8,483万2,000円で、この総額から868万6,000円を減額し、予算の総額を1億7,614万6,000円とするものです。また、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第1表 歳入歳出予算補正」によるものです。

それでは、事項別明細書の歳出から御説明申し上げます。

6ページを御覧願います。

1款事業費 1項水道事業費 1目水道総務費、補正額868万6,000円の減。4月の人事異動に伴う給与等、人件費の補正のため、2、3、4は説明を省略させていただきます。

なお、補正予算の最後に給与費の明細を添付しております。

次に歳入について、御説明いたします。5ページを御覧願います。

3款繰入金 1項一般会計繰入金 1目一般会計繰入金、補正額868万6,000円の減。一般会計繰入金です。

以上で説明を終わります。よろしく御審議くださいますよう、お願い申し上げます。

○議長（富樫順悦） これをもって提案理由の説明を終わります。

これより、質疑に入ります。 質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。 これをもって質疑を終了いたします。

これより、討論を行います。 討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論なしと認めます。 これをもって討論を終了いたします。

これより、議案第8号令和2年度蘭越町簡易水道事業特別会計補正予算を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。

よって、議案第8号は原案のとおり可決されました。

○議長（富樫順悦） 日程第17、議案第9号令和2年度蘭越町農業集落排水事業特別会計補正予算を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。北山建設課長。

○建設課長（北山誠一） ただ今上程されました、議案第9号令和2年度蘭越町農業集落排水事業特別会計補正予算第1号につきまして、御説明申し上げます。この会計の現在の予算の総額は、2億430万8,000円で、この総額から9万円を減額し、予算の総額を2億421万8,000円とするものです。また、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第1表 歳入歳出予算補正」によるものです。

それでは、事項別明細書の歳出から御説明申し上げます。

6ページを御覧願います。

1款事業費 1項下水道事業費 1目下水道維持費、補正額9万円の減。4月の人事異動に伴う給与等、人件費の補正のため、2、3、4は説明を省略させていただきます。なお、補正予算の最後に給与費の明細を添付しております。次に歳入について、御説明申し上げます。

5ページを御覧願います。5款繰入金 1項一般会計繰入金 1目一般会計繰入金、補正額9万円の減。一般会計繰入金です。

以上で説明を終わります。よろしく御審議くださいますよう、お願い申し上げます。

○議長（富樫順悦） これをもって提案理由の説明を終わります。

これより、質疑に入ります。 質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。 これをもって質疑を終了いたします。

これより、討論を行います。 討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論なしと認めます。 これをもって討論を終了いたします。

これより、議案第9号令和2年度蘭越町農業集落排水道事業特別会計補正予算を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。

よって、議案第9号は原案のとおり可決されました。

○議長（富樫順悦） 日程第18、意見書案第1号自治体財政の充実・強化を求める意見書を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。6番、難波議員。

○6番（難波修二） ただ今上程されました、意見書案第1号自治体財政の充実・強化を求める意見書について、御説明申し上げます。

いま、地方自治体には、医療・介護などの社会保障への対応や子育て支援策の充実など、より多様化・複雑化した行政需要への対応が求められておりますが、公的サービスを担う人材不足は深刻化している中、近年多発している大規模災害への防災減災対策の実施や、新たに発生している感染症対策など、緊急な対応を要する課題にも直面しております。

こうした地方の財源対策について、政府は「骨太2018」で2021年度の地方財政計画まで2018年度を下回らないよう、同水準を確保することとしており、実際に2020年度の一般財源総額は過去最高の水準となりましたが、人口減少・超高齢化にともなう社会保障費関連をはじめとする地方の財政需要に対応するためには、更なる地方税制の充実・強化が求められております。よって、本町議会としては、2021年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立を目指すよう、政府に対して、以下の事項の実現を強く要望するものです。

ひとつ、社会保障、防災、環境対策、地域交通対策、人口減少対策、新

型コロナウイルスをはじめとする感染症対策など増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これらに柔軟に対応しうる地方一般財源総額の確保を図ること。

ひとつ、とりわけ、子育て、地域医療の確保、介護や児童虐待防止、生活困窮者自立支援など、急増する社会保障ニーズへの対応と人材を確保するための予算の確保及び地方財政措置を的確に行うこと。

ひとつ、会計年度任用職員制度における当該職員の処遇改善に向けて、本来の法の主旨に基づく所要額の調査を行い、確実にその財源を確保すること。以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出するものであります。

以上で説明を終わります。御審議の上、採択されますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（富樫順悦） これをもって提案理由の説明を終わります。

これより、質疑に入ります。 質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。 これをもって質疑を終了いたします。

これより、討論を行います。 討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

討論なしと認めます。 これをもって討論を終了いたします。

これより、意見書案第1号自治体財政の充実・強化を求める意見書を採決いたします。

お諮りいたします。

本案は、原案のとおり意見書を提出することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。

よって、意見書案第1号は原案のとおり意見書を提出することに決定いたしました。

○議長（富樫順悦） 日程第19、報告第1号繰越明許費繰越計算書について報告を行います。報告を求めます。小林総務課長。

○総務課長（小林俊也） ただ今上程されました、報告第1号繰越明許費繰越計算書について、御説明いたします。

令和元年度蘭越町一般会計予算の第3条で繰越明許費を定めておりますが、これを翌年度へ繰越したための、繰越計算書でございます。

1 ページをお開きください。

6 款農林水産業費 1 項農業費、事業名は大谷地区道営農地整備事業 3,093 万 8,000 円。同じく昆布地区道営農地整備事業 1,872 万 5,000 円。同じく豊国地区道営農地整備事業 1,087 万 5,000 円。同じく蘭越地区道営農地整備事業 837 万 5,000 円。同じく目名一期地区道営農地整備事業 850 万円。2 ページを御覧願います。

同じく目名二期地区道営農地整備事業 1,537 万 5,000 円。同じく初田地区道営農地整備事業 2,137 万 5,000 円です。

次に、7 款商工費 1 項商工費、カッコ内は、令和 2 年度予算で対応する科目で、2 款総務費 1 項総務管理費となります。事業名は、新型コロナウイルス対策中小企業緊急支援事業 5,560 万円です。

7 款商工費 1 項商工費、事業名は海の学びサポートプログラム支援事業 110 万 1,000 円です。

次に、10 款教育費 2 項小学校費、事業名は公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業 1,772 万 9,000 円です。

次のページになります。

10 款教育費 3 項中学校費、事業名は公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業 902 万円です。

以上、これら 11 の事業について、繰越しするものです。

なお、各事業ごとの繰越額の財源内訳につきましては、御覧の内容です。この繰越計算書をもちまして、翌年度へ繰越をいたしましたので、地方自治法施行令第 146 条第 2 項の規定により、議会に報告するものです。以上で、説明を終わります。

○議長（富樫順悦） これをもって報告を終わります。

これより質疑に入ります。 質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。 これをもって質疑を終了いたします。

これをもって報告済といたします。

○議長（富樫順悦） 日程第 20、報告第 2 号令和元年度蘭越町情報公開条例及び蘭越町個人情報保護条例の運用状況について報告を行います。

報告を求めます。小林総務課長。

○総務課長（小林俊也） ただ今上程されました、報告第 2 号令和元年度蘭越町情報公開条例及び蘭越町個人情報保護条例の運用状況につきまして

て、御説明いたします。1ページを御覧願います。

1の情報公開条例の運用状況についてですが、(1)開示請求等の状況は、14件の請求となっています。その処理状況につきましては、処理済が14件で、全部開示したものが11件、不存在が3件となっています。

また、(2)の開示請求のあった公文書の内容等ですが、1番の9月9日にあった請求から2ページになります、14番の3月17日までの、14件となっています。

次に2の個人情報保護条例の運用状況についてですが、開示請求はございません。

また3の情報公開審査会及び個人情報保護審査会の運営状況ですが、審査会は4回開催しております。(1)審査請求の処理状況ですが、平成30年度情報公開条例に基づく審査請求4件6項目処理しており、一部容認1件、棄却3件となっております。

以上、情報公開条例第31条及び個人情報保護条例第46条の規定によりまして、議会に報告するものです。異常で説明を終わります。

○議長（富樫順悦） これをもって報告を終わります。

これより、質疑に入ります。質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認めます。これをもって質疑を終了いたします。

これをもって報告済といたします。

○議長（富樫順悦） 日程第21、報告第3号所管事務調査の中間報告について、総務文教常任委員長から報告を願います。6番、難波議員。

○6番（難波修二） ただ今上程されました、報告第3号総務文教常任委員会所管事務調査について報告いたします。

令和2年第3回蘭越町議会臨時会において、閉会中の継続審査の承認を受け、令和2年5月22日に、教育委員会、住民福祉課、健康推進課に関する所管事務調査を行いました。

出席委員は、私ほか4名の委員です。また、経済建設常任委員会から4名がオブザーバー参加しております。今回は、現在執行中の事業の推進状況と併せて、各課所管の施設及び学校における新型コロナウイルス感染症への対応について調査しました。

感染対策や支援策などの対応については、町対策本部を中心に職員が一丸となり、努力されていることに敬意を表します。

本町では幸いに、現在まで感染者は発生しておりませんが、再び全道的な感染の波がやって来ることを念頭に置いて、引き続き、町民並びに関係施設従事者の感染リスクを抑えるためにきめ細かな取組を推進されることを期待いたします。

はじめに、教育委員会から新型コロナウイルスへの対応について調査をいたしました。小中学校は、2月下旬から5月末日まで、4月初旬の2週間を除いて臨時休業しております。長期間に及んでいるため、児童生徒と保護者の不安やストレスも多いと思われます。この間、教育委員会では、北海道教育委員会の指示について、校長会と16回もの会議を開催し、保護者、児童生徒への連絡調整などの対応を進めており、町民へのお知らせにも取り組んできました。約3か月に及んだ休業の影響は多大だと思われます。学校再開後は、学習の遅れを取り戻すための学校の取組に期待するとともに、町においても感染予防対策や学習支援策を最大限に進めていただきたい。スクールバスや学校給食などの業務にも臨時休業の影響があると思われるので、業務従事者への十分な配慮をしていただきたい。

次に、住民福祉課から新型コロナウイルスへの対応について調査をいたしました。保育所は、保育を必要とする家庭への配慮から、原則通常通りに開所し、保護者の協力を得ながら、感染症対策マニュアルを加え、3密の回避や施設内消毒などを徹底して運営されておりました。

学童保育については、小学校3年生以下に受入れを限定し、保育所と同様の対策を講じて運営されておりました。

コロナウイルスと共存する覚悟で、今後も引き続き各家庭と連携して予防対策に努められるようお願いいたします。

続いて、ごみ処理の現状と課題について調査をいたしました。

本年度から一般廃棄物処理業務を専門事業者に委託しております。

運営は順調ですが、引取費用や運搬費用の高騰によって、今後ごみ処理料金の値上げと、衛生ごみ、おむつ等の分別収集を検討する必要性があるとの報告がありました。住民生活に直接関わる課題ですので、町民の理解と協力を得て改善を進めることが大切と思われます。

また、生ごみ堆肥の町民還元は大変好評ですので、復活できないものか関係者と協議検討していただきたい。

次に、健康推進課から介護事業所等の新型コロナウイルス対策について調査をいたしました。デイサービスや訪問介護ヘルパー等の業務については、施設内の管理やサービス提供時の対応に、十分な感染予防対策を講じた上で取り組まれておりました。担当職員の努力に敬意を表する

とともに、介護サービスを必要とする方々は多いので、今後も運営の協力を期待をいたします。介護サービス事業や各種保健活動の際に行う検温については、非接触型に改善するなどの感染予防対策にも配慮していただきたい。

最後に、統合診療所開設に伴う運営等の準備状況について調査をいたしました。統合診療所建設検討委員会の中で関係医師と十分に協議を行い、診療時間やスタッフの確保、医療機器の調達など、診療所の運営に関する計画の具体的な検討に取り組みられておりました。

本町の医療体制充実に向けた画期的な取組となりますので、来年4月の開業に向けて、引き続き関係者と緊密に連携を取り、準備作業に取り組まれることを期待します。統合診療所に常駐する町派遣の事務長職については、可能な限り早期に発注し、医師はじめ医療スタッフとの連携を強化して、円滑な開業にすることが望ましいと思われれます。新たに招へいする医師の確保に引き続き努めるとともに、開業当初の3名の医師団の処遇については十分な配慮をしていただきたい。

以上、総務文教常任委員会所管事務調査の報告を終わります。

○議長（富樫順悦） これをもって報告を終わります。

○議長（富樫順悦） 日程第22、報告第4号例月出納検査結果報告について、代表監査委員より報告がありましたので、その写しをお手元に配布いたしましたので御了承願います。

○議長（富樫順悦） 日程第23、承認第1号閉会中の継続調査申出を議題といたします。経済建設常任委員長から会議規則第75条の規定により、所管事務調査について閉会中の継続調査の申し出があります。

お諮りいたします。

経済建設常任委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。

よって、経済建設常任委員長から申し出のとおり、調査終了まで閉会中の継続調査とすることに決定いたしました。

○議長（富樫順悦） 日程第24、承認第2号閉会中の継続調査申出を議題といたします。議会運営委員長から、会議規則第75条の規定により、

本会議の会期日程と議会の運営に関する事項について、閉会中の継続調査の申し出があります。

お諮りいたします。

議会運営委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

異議なしと認めます。

よって、委員長から申し出のとおり、調査終了まで閉会中の継続調査とすることと決定いたしました。

○議長（富樫順悦） 以上をもって、本定例会に付議された案件の審議は全部終了いたしました。

これにて、令和2年蘭越町議会第2回定例会を閉会いたします。

お疲れ様でした。

16時48分 閉会